



# Kaspersky Security Center を使用した Kaspersky Endpoint Security for Windows 展開ガイド

2023/9/7  
株式会社カスペルスキー  
セールスエンジニアリング本部  
Ver. 6.0

## 目次

1. はじめに.....	3
1.1. 本資料の目的.....	3
1.2. 導入から運用開始までの流れ.....	4
1.3. 製品概要.....	5
1.4. システム要件について.....	6
1.5. インストールの流れ.....	7
2. NA、KES インストール時のポイント.....	8
3. NA のインストール.....	9
3.1. ローカルインストールパターン.....	10
3.1.1. 共有域を利用.....	14
3.1.2. 外部メディアを利用.....	17
3.2. KSC のタスクを利用したリモートインストール.....	20
3.3. Active Directory のグループポリシーを利用したリモートインストール.....	27
3.4. 資産管理ソフトウェアを利用したリモートインストール.....	32
4. KES のインストール.....	33
4.1. グループの作成、および端末の移動.....	33
4.2. タスクの作成、および実行.....	36
5. KES と NA を同時にインストール.....	44
5.1. KES と NA が含まれたスタンドアロンインストールパッケージの作成.....	45
5.2. KES+NA スタンドアロンインストールパッケージの実行.....	49
Appendix.....	51
1. NA を使用せずにリモートインストールを行う場合の事前準備.....	51
1.1. Windows ファイアウォールの設定.....	52
1.2. 簡易ファイル共有の無効化.....	56
1.3. ネットワーク検索の有効化.....	58
1.4. ユーザーアクセスコントロールの無効化.....	60
2. インストールに administrator 以外のアカウントを使用する場合.....	62

## 1. はじめに

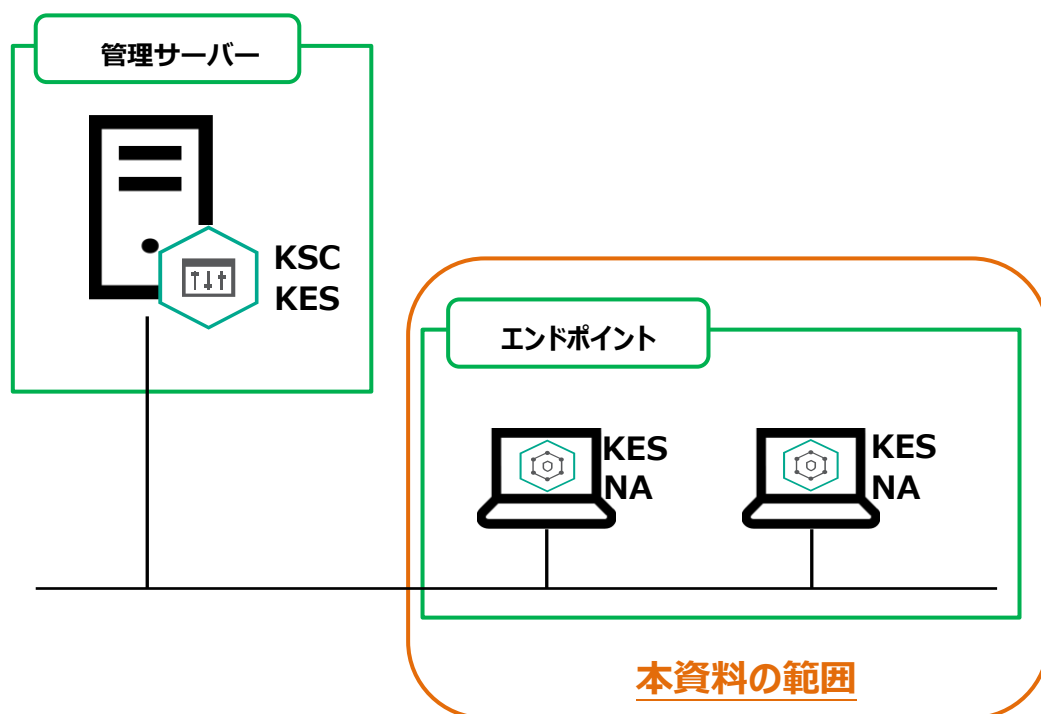
---

### 1.1. 本資料の目的

---

本資料では、オンプレミスで構築した Kaspersky Security Center（以降 KSC）から管理対象デバイスへ、ネットワークエージェント（以降 NA）と Kaspersky Endpoint Security for Windows（以降 KES）をインストールする手順を紹介しています。

下図はイメージ図です。

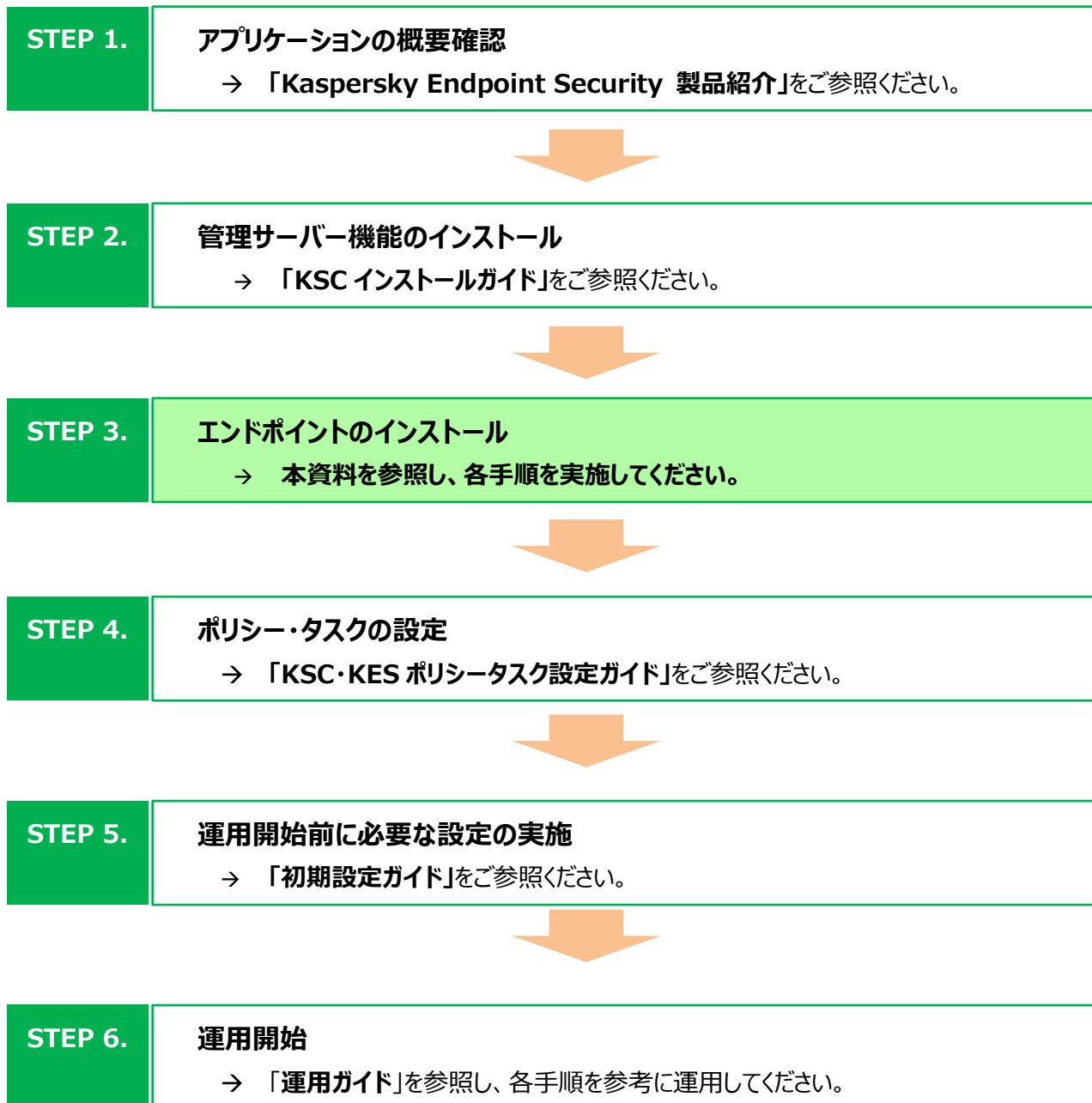


Kaspersky Security Center(以下 KSC)の構築手順につきましては、別紙「KSC インストールガイド」をご参照ください。

## 1.2. 導入から運用開始までの流れ

---

カスペルスキー製品の導入から運用開始までの流れ、および本資料の位置づけについてご説明します。



上述の各資料は、以下サイトから閲覧、ダウンロードすることができます。

- ・ 法人のお客様向けダウンロード資料 (<https://kasperskylabs.jp/biz/>)

それぞれの主な役割は以下の通りです。

### **Kaspersky Security Center (KSC)**

カスペルスキー製品を統合管理するツールです。製品のリモートインストールやポリシー・タスクの管理を行います。また、レポート機能によりマルウェアの検知状況、定義ファイルの更新状況、社内コンピューターの脆弱性の状況などのセキュリティステータスをグラフィカルなレポートで確認することができます。

(本資料で使用するのはバージョン 14.2 です)

### **Kaspersky Endpoint Security for Windows (KES)**

クライアントに導入するセキュリティソフトウェアです。マルウェアのスキャンや駆除を行います。ライセンスは次の 2 種類あり、それぞれ利用できる機能が異なります。

(本資料で使用するのはバージョン 12.2 です)

#### Select

クライアント、モバイル、サーバーOS 向けアンチウイルス、およびコントロール機能

#### Advanced

Select + 脆弱性診断とパッチ配信機能、暗号化

詳細はホームページをご確認ください

<https://www.kaspersky.co.jp/small-to-medium-business-security>

### **ネットワークエージェント (NA)**

KES と KSC の間の通信を行うプログラムです。ポリシーとタスクなどの管理情報やプログラムの更新情報などをやりとりするほか、KSC 経由でクライアントに KES をリモートインストールする際にも使用されます。

KES、NA それぞれが適切に動作するためには、インストール先のコンピューターが下記 URL に記載されているシステム要件を満たしている必要があります。

【ネットワークエージェントのシステム要件】

<https://support.kaspersky.com/KSC/14.2/ja-JP/96255.htm>

上記にアクセスし、「ネットワークエージェント」の項をご確認ください。

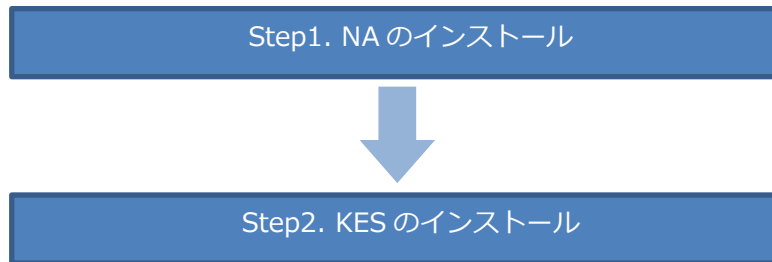
【KES のシステム要件】

<https://support.kaspersky.com/KESWin/12.2/ja-JP/127972.htm>

## 1.5. インストールの流れ

---

カスペルスキー製品は 保護コンポーネント(KES) と 通信コンポーネント(NA) の 2 つに分かれています。  
本資料では、最初に NA のインストールを行い、その後、KSC のタスクを用いて KES をインストールする流れで構成しています。



個々の手順について以下より説明します。

## 2. NA、KES インストール時のポイント

### ① NA は競合製品が動作している環境でもインストール可能

NA は KSC と通信を行うためのエージェントであり、エンドポイント（アンチウイルス）ではありません。そのため、他社のアンチウイルス製品が動作している環境であっても、競合することなくインストールすることが可能です。

また、インストール後は、KSC にて各クライアントデバイスに導入されているアプリケーションの情報を確認することができます。競合製品のバージョン確認などに有効です。

### ② KES インストール時、競合製品の自動削除が可能

KES をインストールする際、Symantec や TrendMicro 等のアンチウイルス製品を自動的に削除することができます。

自動削除の完了後、KES のインストールが継続して行われます。（その後 OS の再起動が必要）事前に競合製品を削除する必要がないため、移行時におけるセキュリティ低下を防ぐほか、作業工数の軽減にもつながります。

#### <注意>

**競合製品の仕様、バージョンに依存するため、すべての競合製品が自動削除の対象ではありません。手動による削除（アンインストール）が必要な場合もあります。**

競合製品のリストは KES インストーラーに含まれる「incompatible.txt」をご参照ください。

まずは既存環境にて自動削除ができるかどうか、検証端末を用意しご確認くださいことをお勧めします。

競合製品として検知しないものや自動削除ができない場合、カスペルスキーにご相談ください。対応策をご提示できる場合があります。



## 3. NA のインストール

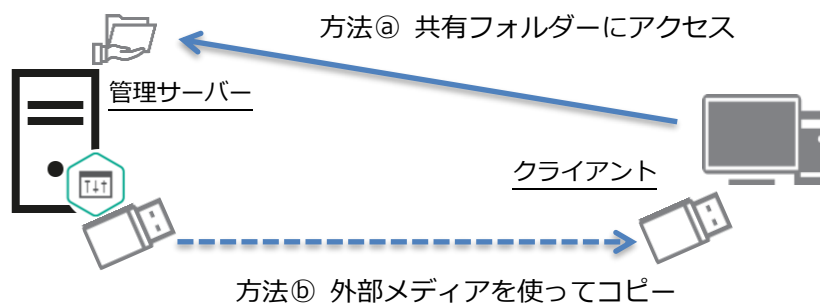
---

本章では、クライアントに NA をインストールする方法を説明します。

NA のインストール方法は大きく分けて以下の 2 つとなります。

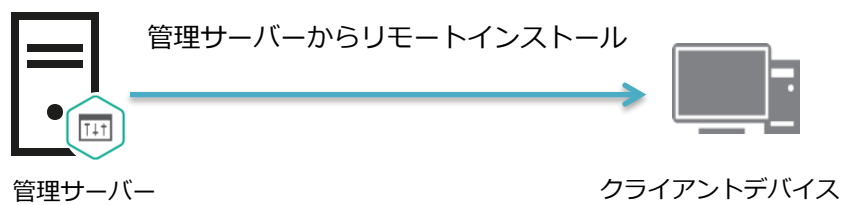
### 1. ローカルインストールパターン

保護対象のクライアントデバイスに外部メディアや共有域を利用してインストールパッケージを配布し、ローカルでインストールを行います。この方法は個々の端末で作業が発生します。



### 2. リモートインストールパターン

KSC のタスクや、OS、資産管理ソフトウェアを利用し、複数のクライアントデバイスにインストールを行います。選択する方法によってはファイアウォールやクライアントデバイスの OS 設定で一部変更が必要です。



リモートインストールパターンをさらに細かく分けると以下に分かれます。

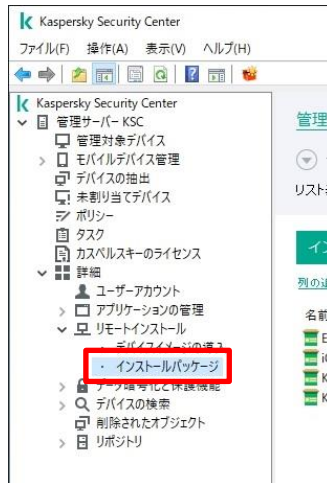
- (1). KSC のタスクを利用したリモートインストール
- (2). Active Directory のグループポリシーを利用したリモートインストール
- (3). 資産管理ソフトウェアを利用したリモートインストール

ローカルインストールパターン、リモートインストールパターン、いずれの方法も結果は同じですので、台数や環境に応じた最適な方法を選択し、インストールください。

## 3.1. ローカルインストールパターン

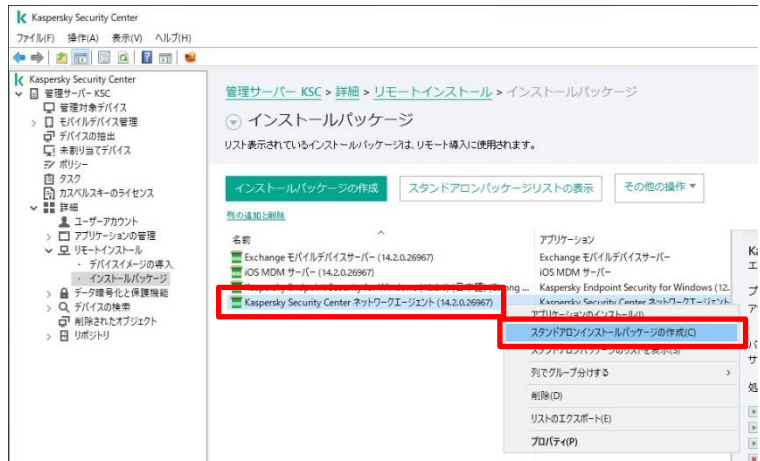
この方法は KSC で NA のスタンドアロンインストールパッケージを作成し、作成したインストーラーを各クライアントデバイスへ展開し、インストールする方法です。

- (1) KSC 管理コンソールを起動し、「詳細」-「リモートインストール」-「インストールパッケージ」を選択します。



- (2) 右側の画面に、現在登録されているインストールパッケージの一覧が表示されます。

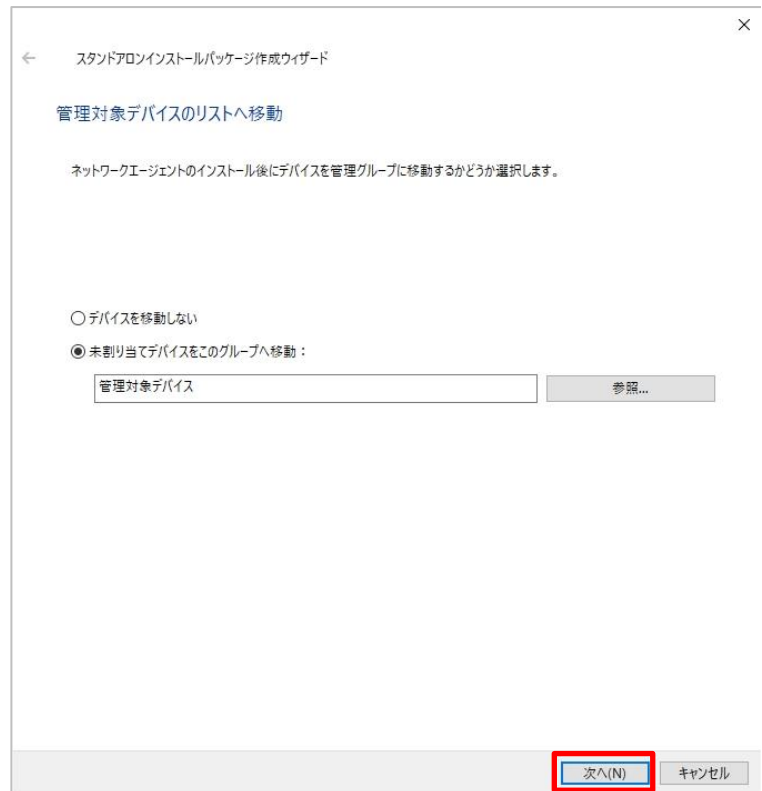
「Kaspersky Security Center ネットワークエージェント」を右クリックし、「スタンドアロンインストールパッケージの作成」を選択します。



(3) スタンドアロンインストールパッケージ作成ウィザードが起動します。

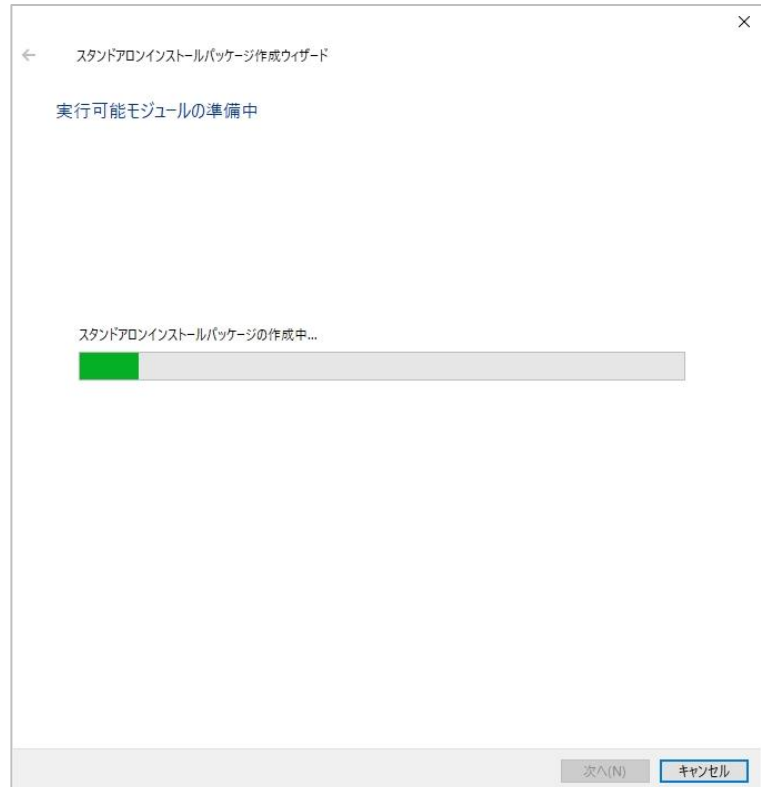
このスタンドアロンインストールパッケージを使用して NA をインストールしたデバイスを、どのグループに移動するかが設定できます。

ここでは既定値のまま、「次へ」をクリックします。



(4) スタンドアロンインストールパッケージを作成します。

完了するまでしばらくお待ちください。



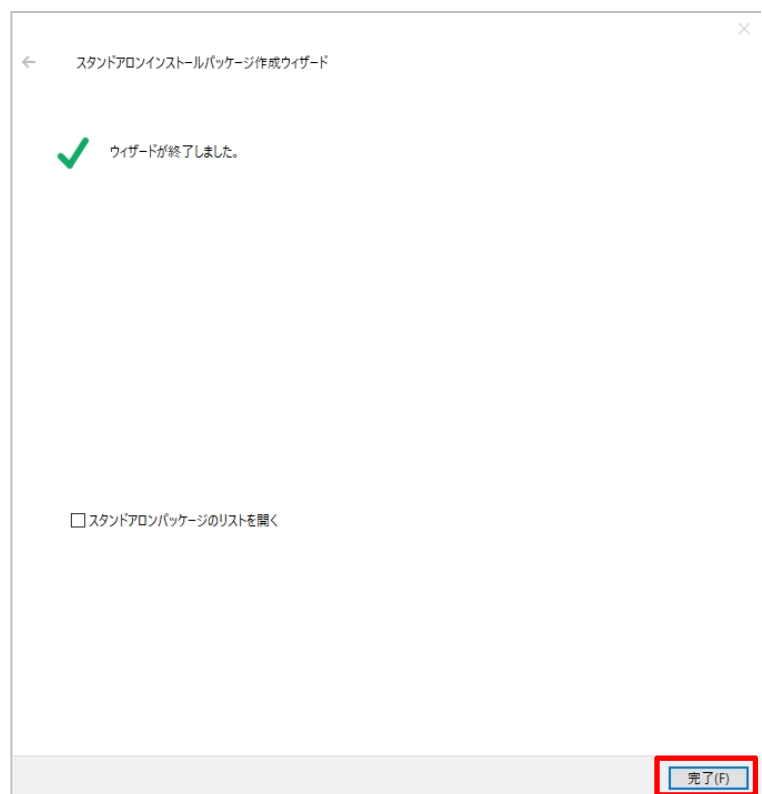
- (5) 正常にスタンドアロンインストールパッケージが作成されたことを確認します。  
作成されたインストールパッケージのパスとファイル名が表示されます。

このパスにクライアントデバイスからアクセスするとインストールパッケージを取得することができます。

確認後、「次へ」をクリックします。



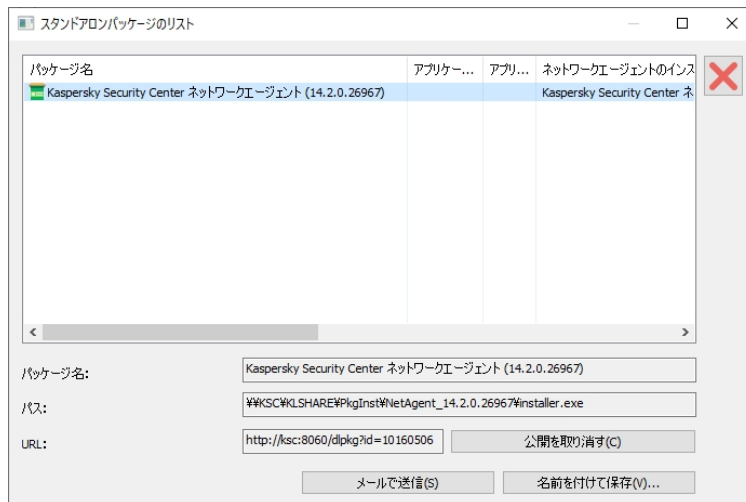
- (6) 「完了」をクリックし、ウィザードを終了します。



- (7) 作成したスタンドアロンインストールパッケージを確認するには、「スタンドアロンパッケージリストの表示」をクリックします。



- (8) 作成したスタンドアロンインストールパッケージの一覧が表示されます。  
選択すると、下にリンクなど詳細が表示されます。



本節は以上です。

作成したインストールパッケージを各クライアントデバイスへ配布する方法として、以下 2 種類の方法をご説明します。

## 1. 共有域を利用

クライアントデバイスから KSC の共有フォルダーにアクセスしてインストールします。

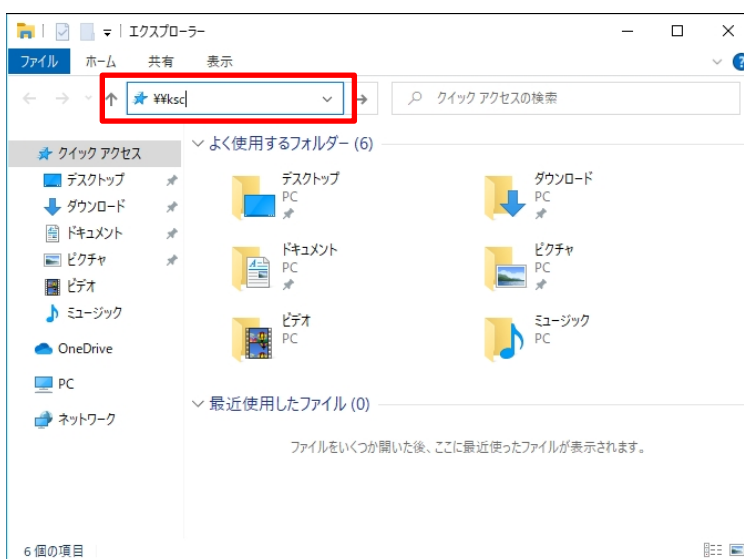
## 2. 外部メディアを利用

USB メモリなどの外部メディアを使って配布します。

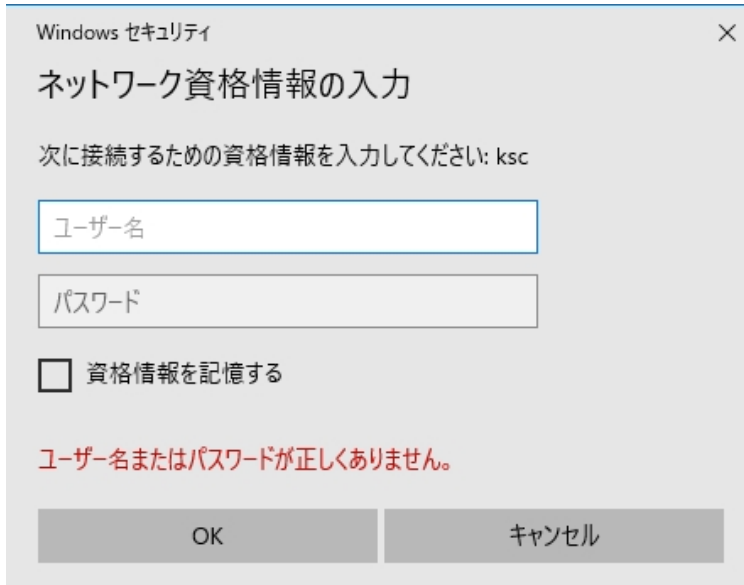
### 3.1.1. 共有域を利用

- (1) インストールするクライアントデバイス上で「エクスプローラー」を起動します。  
パスが表示されているフィールドを選択し、  
「¥¥管理サーバー」と入力します。

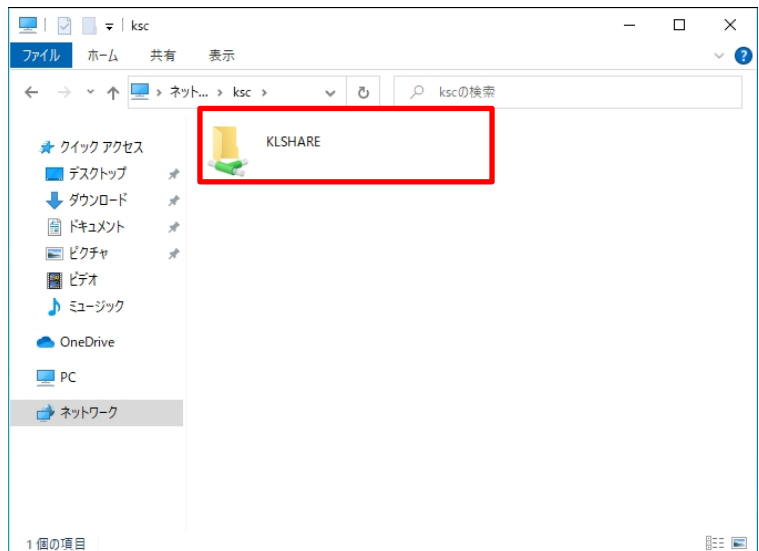
ここでは管理サーバーの宛先として「¥¥ksc」  
を入力しております。



- (2) もし、右図のように Windows セキュリティ画面が表示された場合、適切なアカウント情報を入力し、KSC の共有域にアクセスしてください。



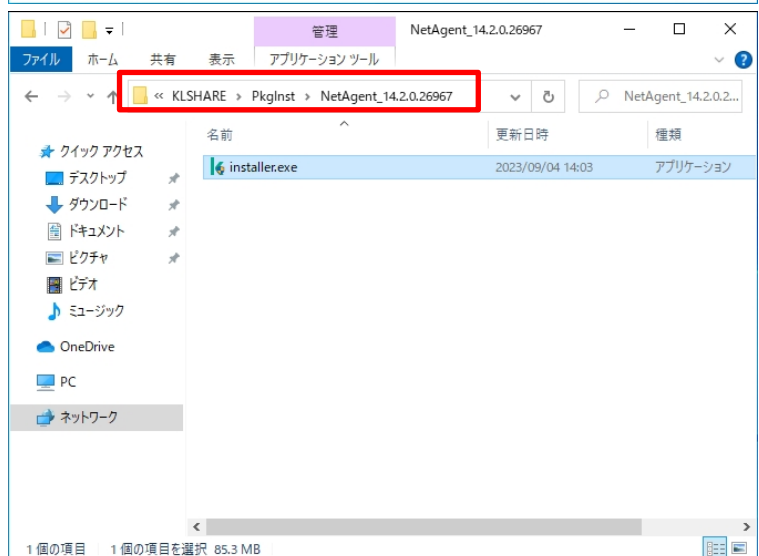
(3) 共有フォルダーとして「KLSHARE」が表示されることを確認します。



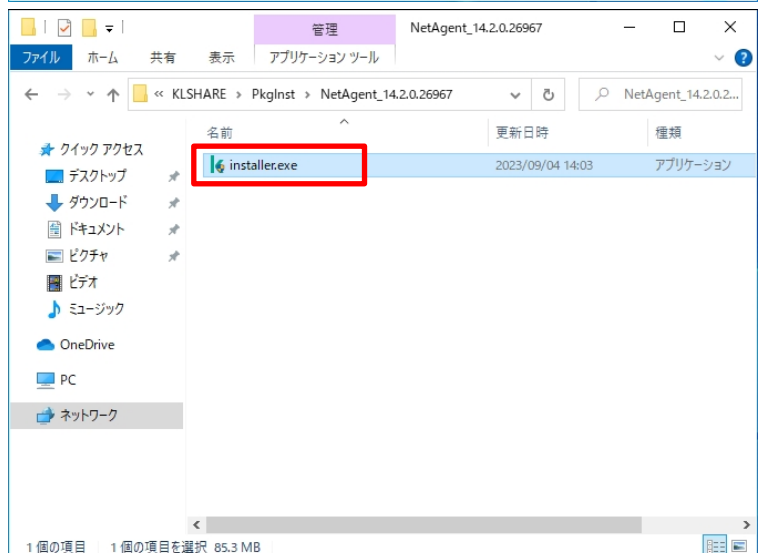
(4) 以下パスまで共有フォルダーを展開します。

[\\ksc\\KLSHARE\\PkgInst\\NetAgent\\_14.2.0.26967](#)

実際のパスは、上述のスタンドアロンインストールパッケージ作成手順(5)をご参照ください。

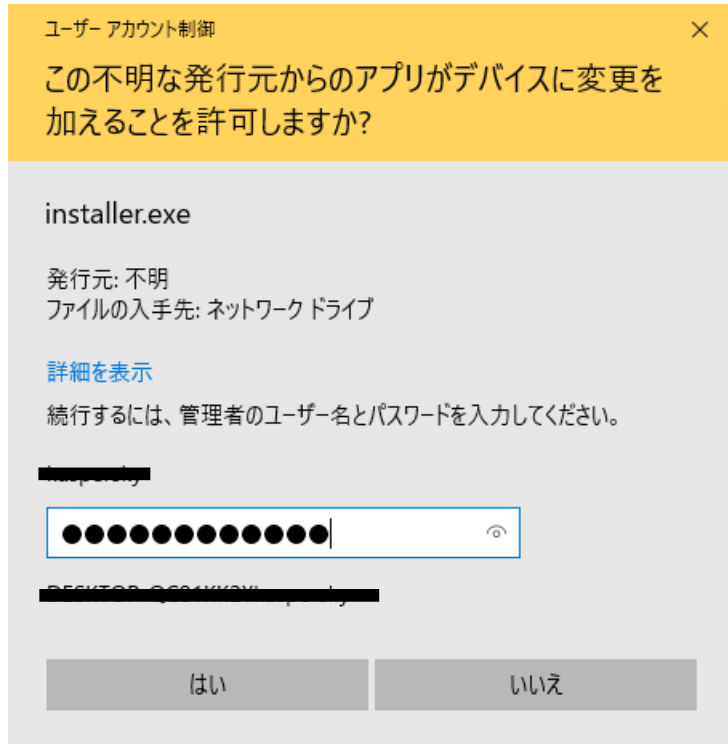


(5) installer.exe を実行します。



- (6) ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合、適切なアカウントを入力し、処理を進めます。

ログオン中のアカウントの権限により、パスワード入力は表示されず、「はい」をクリックすることで処理を進めることもできます。



- (7) カスペルスキー製品のインストール画面が表示されます。

「インストールの開始」をクリックします。



- (8) NA のインストールが開始されます。  
インストール完了までしばらくお待ちください。





- (9) 「インストールが正常に完了しました」と表示されたことを確認し、「OK」をクリックします。



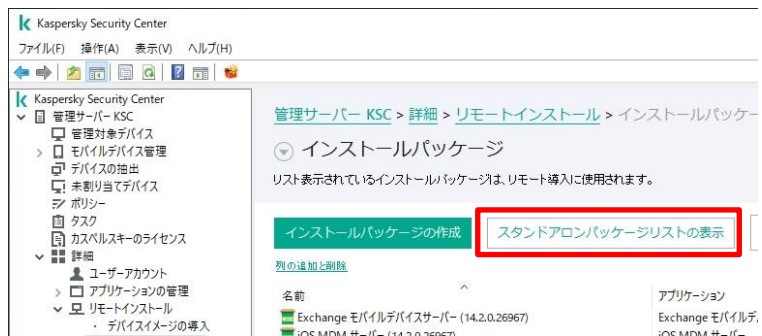
共有域を利用する手順は以上です。

### 3.1.2. 外部メディアを利用

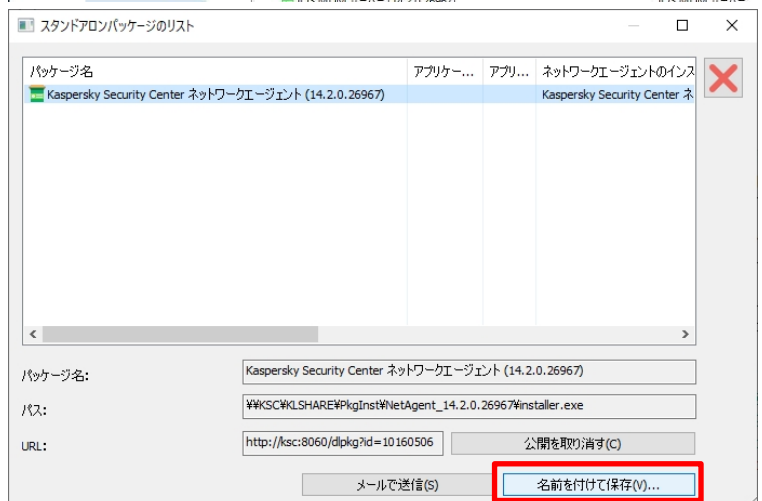
次に**外部メディアを利用**する場合の手順を記載します。

外部メディアを利用する場合、先の手順で作成したスタンドアロンインストールパッケージを外部メディアに複製します。

- (1) KSC の管理コンソールを起動し、「詳細」-「リモートインストール」-「インストールパッケージ」を選択します。  
その後、右側の詳細ウィンドウ内にある「スタンドアロンパッケージリストの表示」をクリックします。



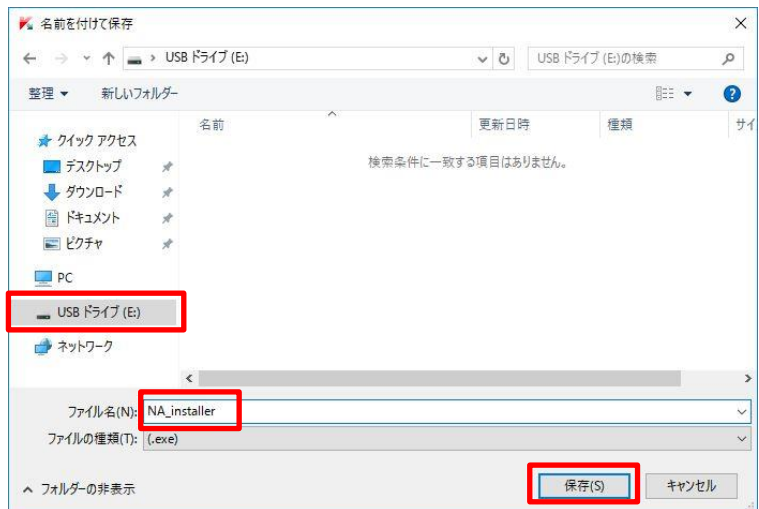
- (2) スタンドアロンインストールパッケージのリスト画面が表示されます。  
複製したいパッケージを選択し、「名前を付けて保存」をクリックします。



- (3) 保存先を選択する画面が表示されたら、適切な場所、名前を設定して「保存」をクリックします。

ここでは保存先に USB デバイスを選択し、ファイル名は「NA\_installer」と設定しています。

インストーラーの保存は以上になります。

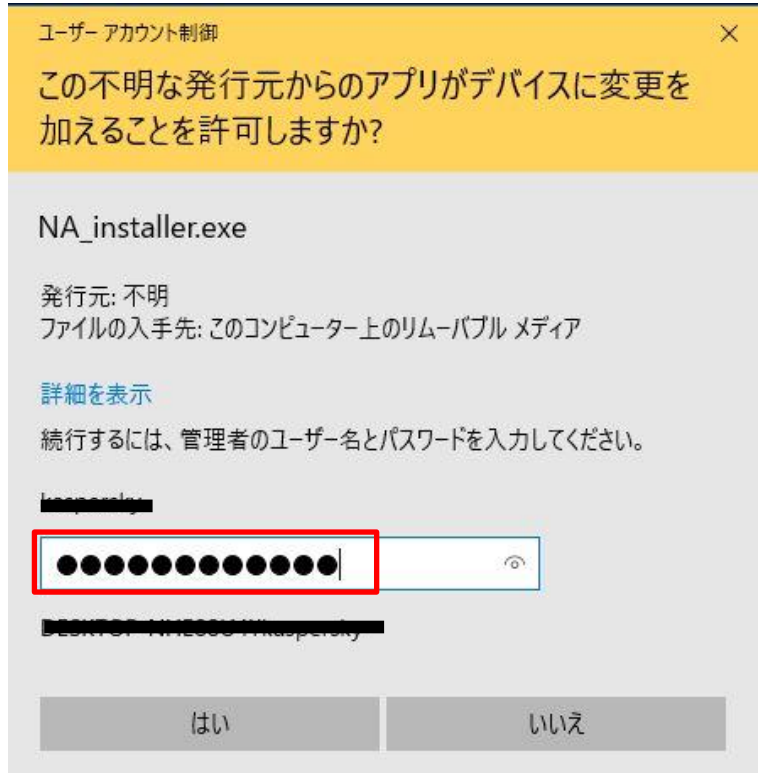


- (4) USB をクライアントデバイスに接続し、保存したインストーラーを実行します。



- (5) ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合、適切なアカウントを入力し、処理を進めます。

ログオン中のアカウントの権限によりパスワード入力表示されず、「はい」をクリックすることで処理を進めることもできます。



- (6) カスペルスキー製品のインストール画面が表示されるので、「インストールの開始」をクリックします。



- (7) NA のインストールが開始されます。  
インストール完了までしばらくお待ちください。



- (8) インストール完了画面が表示されるので、「閉じる」をクリックします。



外部メディアを利用する手順は以上です。

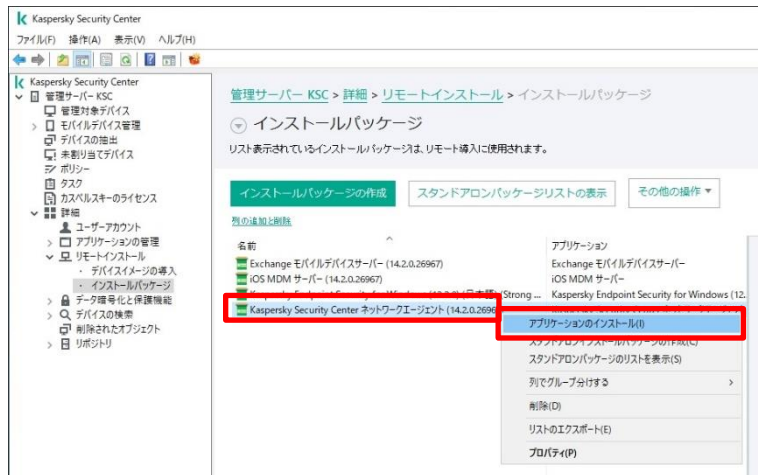
## 3.2. KSC のタスクを利用したリモートインストール

KSC の「アプリケーションのリモートインストール」タスクを利用し、NA を各クライアントデバイスへインストールする手順をご説明します。

**この方法を行う場合、事前にクライアントデバイス側で Appendix 「1. NA を使用せずにリモートインストールを行う場合の事前準備」に記載されている手順を実施する必要があります。**

上記設定が実施済みであることを前提とし、NA をリモートインストールする手順をご説明します。

- (1) KSC の管理コンソールを起動し、「詳細」-「リモートインストール」-「インストールパッケージ」を選択します。  
「Kaspersky Security Center ネットワークエージェント」を右クリックし、「アプリケーションのインストール」をクリックします。

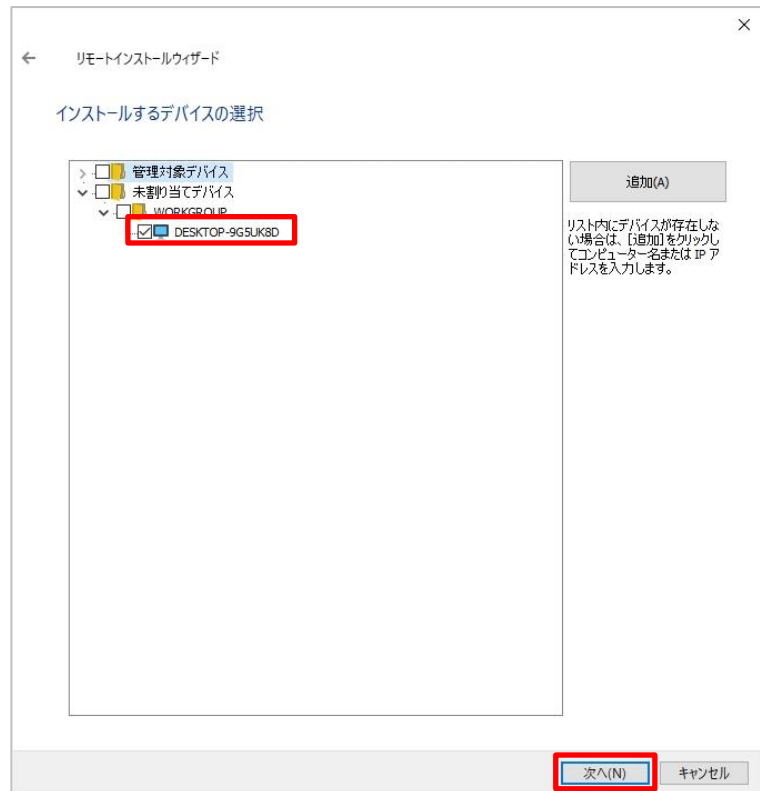


- (2) インストールするデバイスの選択画面が表示されます。  
「インストールするデバイスの選択」をクリックします。



(3) インストールするデバイスの選択画面が表示されます。

「未割り当てデバイス」のツリーを展開し、インストールするデバイスの左側にあるチェックボックスにチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



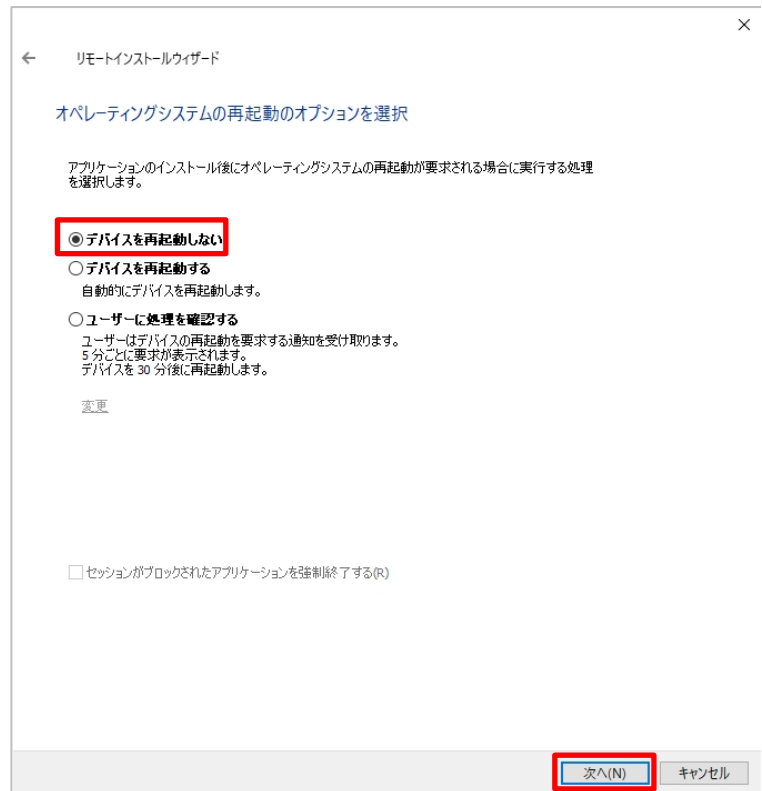
(4) リモートインストールタスク設定の定義画面が表示されます。

「ネットワークエージェントを使用する」チェックを外し、「次へ」をクリックします。



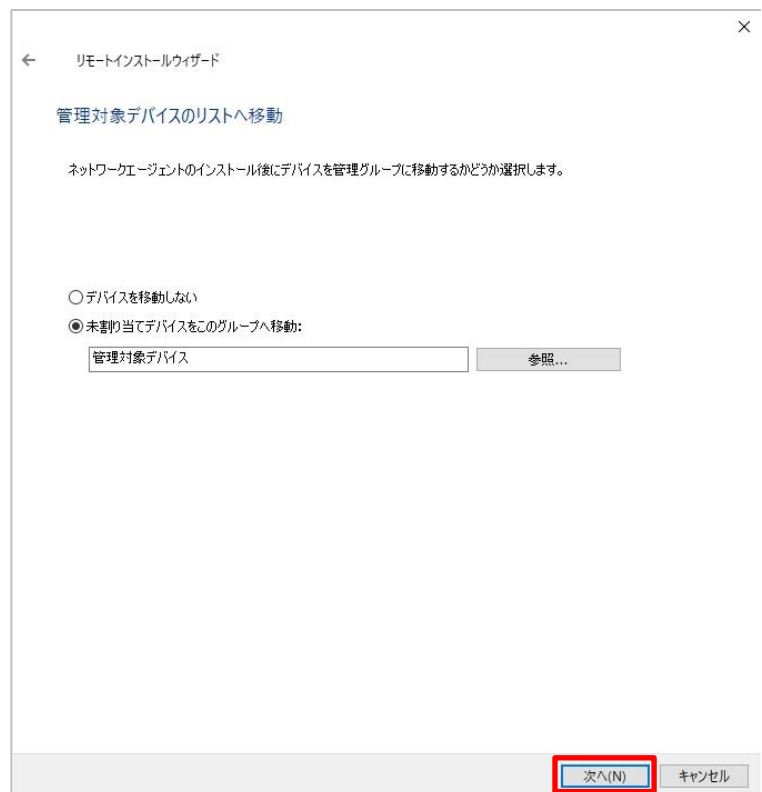
(5) インストール後の OS 再起動方法を選択します。

ここでは「デバイスを再起動しない」を選択し、「次へ」をクリックします。

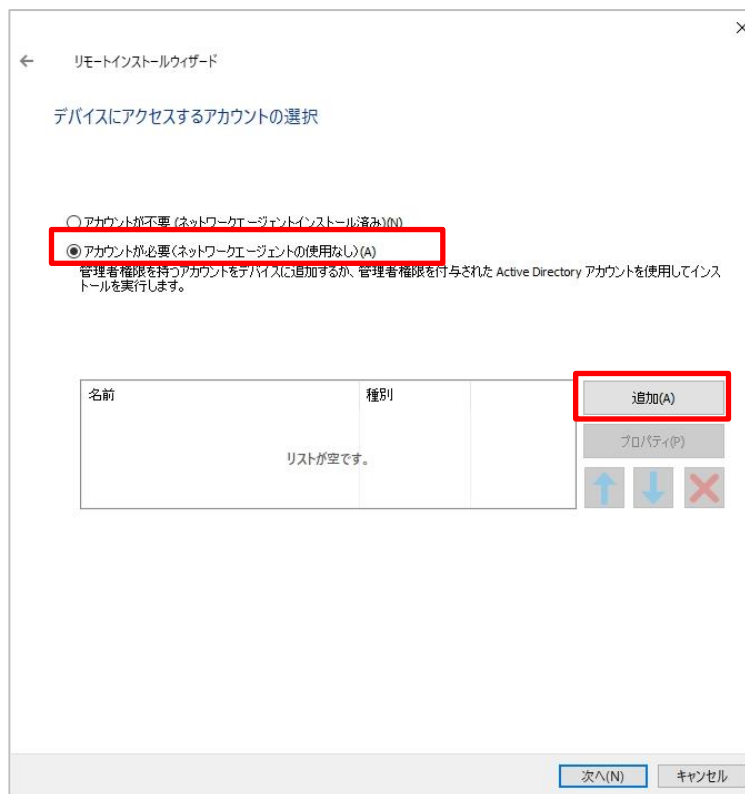


(6) このスタンドアロンインストールパッケージを使用して NA をインストールしたデバイスを、どのグループに移動するかが設定できます。

ここでは既定値のまま、「次へ」をクリックします。

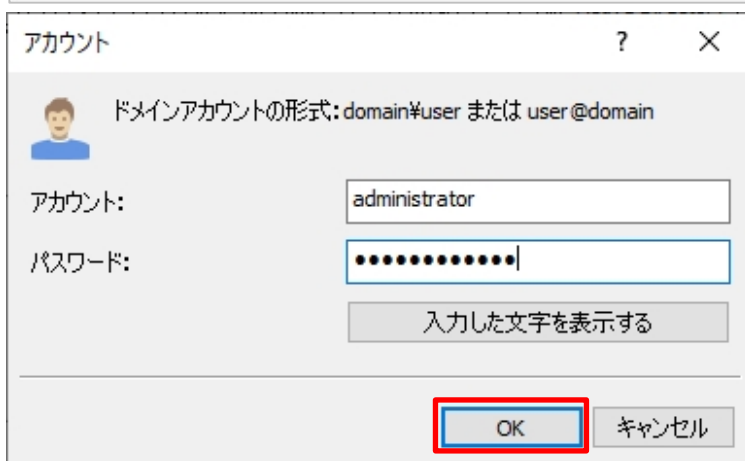


- (7) タスクの実行アカウントを指定します。  
「アカウントが必要」を選択し、「追加」をクリックします。



- (8) アカウント画面が表示されるので、**インストール対象デバイスの administrator アカウント情報**を入力し、「OK」をクリックします。

※ **administrator 以外の管理者権限アカウントを使用したい場合は、Appendix「2.インストールに administrator 以外のアカウントを使用する場合」をご参照ください。**



- (9) 正常にアカウント情報が追加できたことを確認し、「次へ」をクリックします。

複数デバイスに対してタスクの実行を行い、デバイス毎にパスワードが異なる場合、「追加」で別のパスワードを登録してください。上から順に認証が行われ、該当するものが使用されます。

リモートインストールウィザード

デバイスにアクセスするアカウントの選択

☐ アカウントが不要 (ネットワークエージェントインストール済み)(N)  
☒ アカウントが必要 (ネットワークエージェントの使用なし)(A)  
管理者権限を持つアカウントをデバイスに追加するか、管理者権限を付与された Active Directory アカウントを使用してインストールを実行します。

名前	種別
administrator	アカウント

追加(A)   
 プロパティ(P)   
 ↑ ↓ ✕

次へ(N) キャンセル

- (10) インストールの開始画面が表示されるので、「次へ」をクリックし、インストールを開始します。

リモートインストールウィザード

インストールの開始

リモートインストールタスクが作成、設定されました。  
 既定では、このタスクの実行方法は「手動」です。スケジュールを設定してタスクを実行する場合は、【タスク】フォルダーに移動してタスクのプロパティウィンドウの【スケジュール】セクションでタスク実行スケジュールを設定してください。

☐ リモートインストールウィザードの終了後にタスクを実行しない(N)

次へ(N) キャンセル

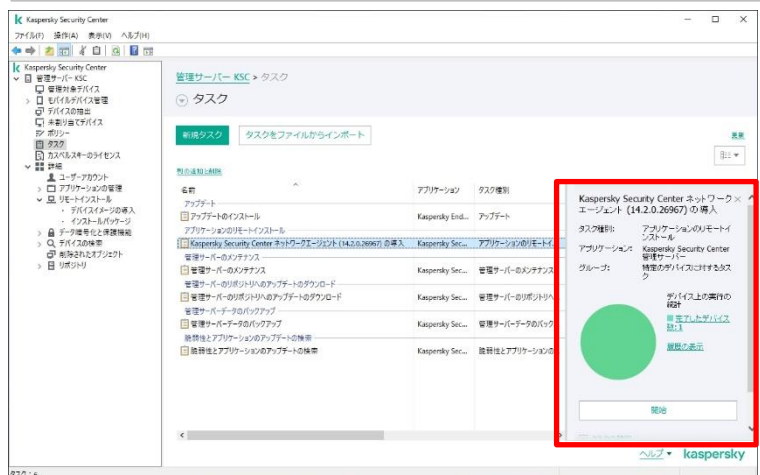


- (11) 「製品の導入を開始しました。」と表示されるので、「完了」をクリックします。



- (12) タスクの実行状況や結果は、KSC の管理コンソール左側の「タスク」を開き、右画面にてタスクを選択するとステータスが表示されます。

右図はタスクが正常に完了した状態です。



NA のインストールが完了すると KSC 管理コンソール上の「管理対象デバイス」にクライアントデバイスが表示されます。  
(表示されない場合、しばらく待ってから右上の「更新」をクリックしてください。)

Kaspersky Security Center

管理サーバー KSC > 管理対象デバイス

管理対象デバイス

デバイス ポリシー タスク

デバイスをグループに移動 新規グループ 処理を実行 列の追加と削除 更新

フィルターが指定されていません。レコードの合計: 2

ステータスを選択: ☒ 緊急: 2 ☒ 警告: 0 ☒ OK: 0

選択したグループおよびそのサブグループ内にある、指定したステータスのデバイス数が上部に表示されます。その下のリストには選択したグループ内のデバイスのみが表示されます。

名前	前回の管理サー...	ネットワークエー...	リアルタイム保護...	作成日	グループ
DESKTOP-9G5UK8D	12 分前	はい	はい	31 分前	管理対象デバイス
KSC	1 分前	はい	はい	1 時間前	管理対象デバイス

DESKTOP-9G5UK8D

デバイスのステータス: 緊急/可視

セキュリティ製品がインストールされていません

プロパティ

DNS ドメイン名: desktop-9g5uk8d.localdomain

IP アドレス: 192.168.100.202

IPv6 アドレス: fe80::f0b6:78a3:88ef:8f0e

スキャンからの保護ス...

データスキャンからの保護ス...

Endpoint Sensor のス...

ヘルプ kaspersky

グループ: 0, デバイス: 2

注)デバイスのアイコンの色が赤いのは KES がインストールされておらず、システムの保護が行われていないためです。

本項は以上です。

## 3.3. Active Directory のグループポリシーを利用したリモートインストール

Microsoft の Active Directory を使用している場合、グループポリシーのスタートアップスクリプトを使用してネットワークエージェントを配布することができます。

ここでは、KSC で作成する NA のスタンドアロンインストールパッケージを、Active Directory のスタートアップスクリプトを使用して配布する手順についてご説明します。

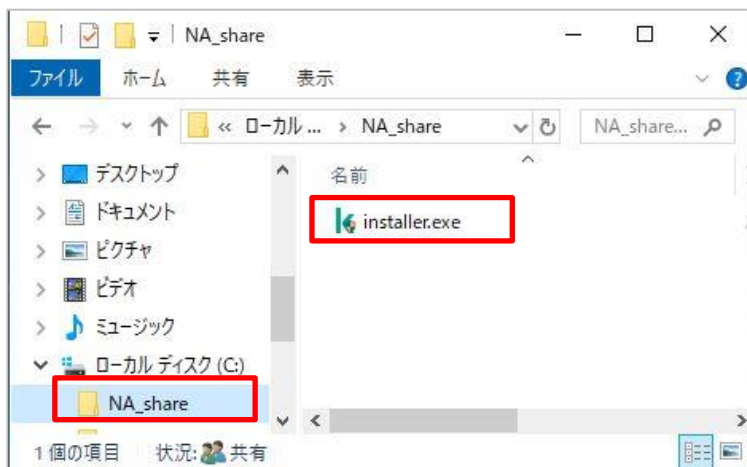
事前に「**3.1 ローカルインストールパターン**」の手順を参照し、NA のスタンドアロンインストールパッケージを作成してドメインコントローラー上に格納してください。

スタートアップスクリプトへ登録する際、オプションとして **/s** を使用することでサイレントインストールとなります。

参考として、Windows 2019 Active Directory にてスタートアップスクリプトを作成する手順をご説明します。

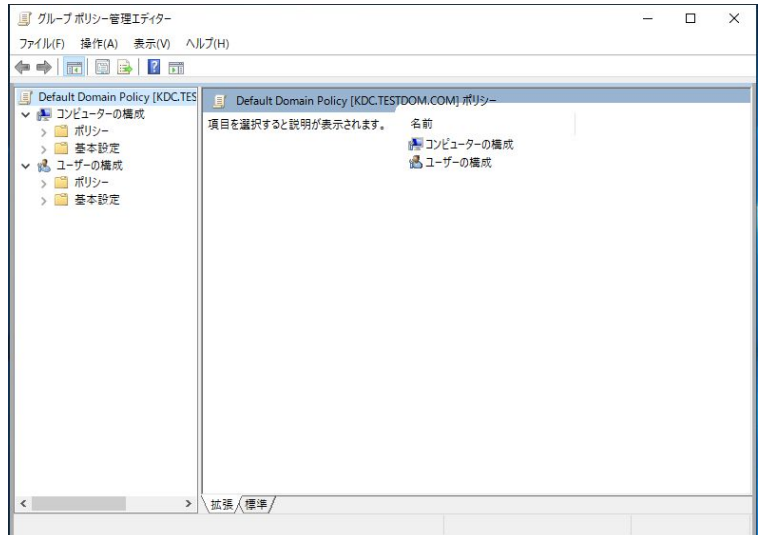
- (1) 事前に NA のスタンドアロンインストールパッケージをコピーし、任意のドメインコントローラー上の共有フォルダーへ配置します。

共有フォルダーに対しクライアントデバイスからアクセスできるよう「Administrators」「Authenticated users」「Domain users」に対して「読み取りと実行」「フォルダーの内容の一覧表示」「読み取り」のアクセス権を設定します。



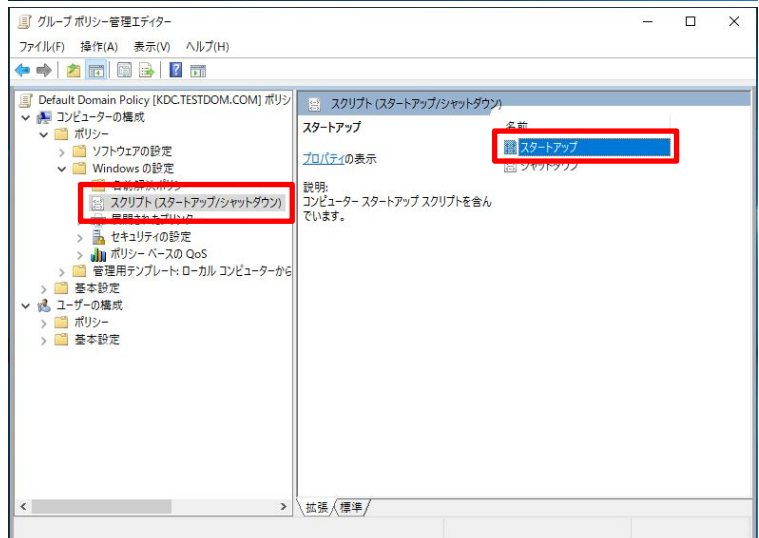
ここでは「NA\_share」という共有フォルダーを作成し、共有設定やアクセス権の設定をしております。

- (2) インストールするクライアントデバイスに適用するグループポリシーエディターを編集します。

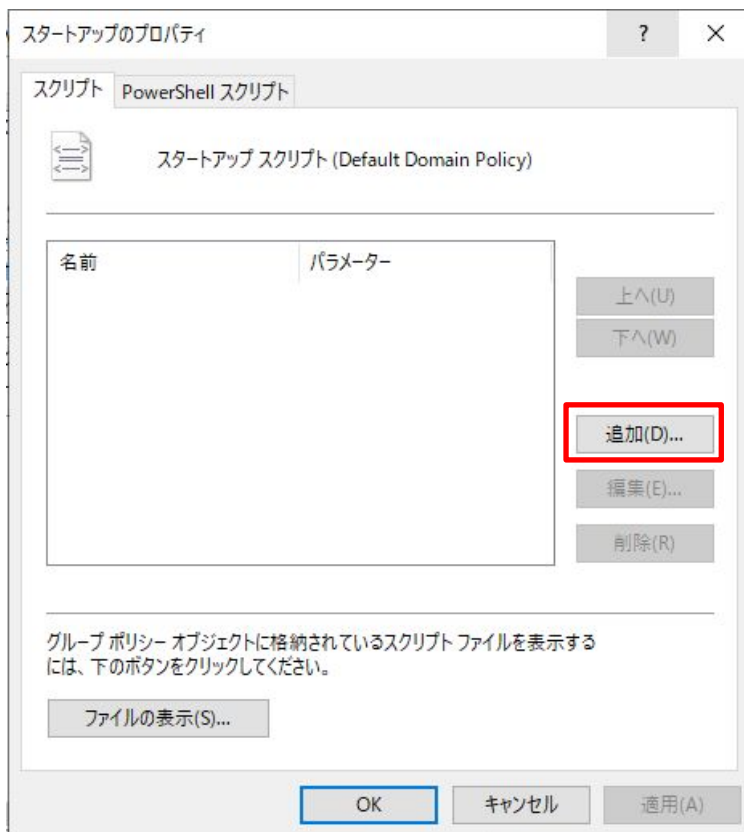


- (3) 「コンピューターの設定」-「ポリシー」-「Windows の設定」-「スクリプト (スタートアップ/シャットダウン)」を開きます。

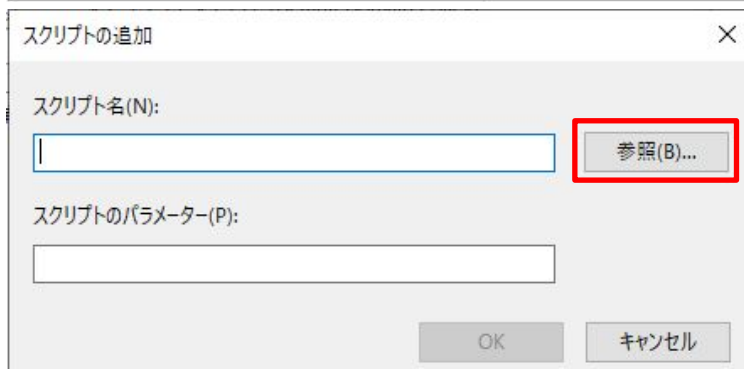
右画面にて「スタートアップ」をダブルクリックします。



- (4) プロパティ画面が表示されたら、「追加」ボタンをクリックします。



- (5) 「スクリプトの追加」にて「参照」をクリックします。

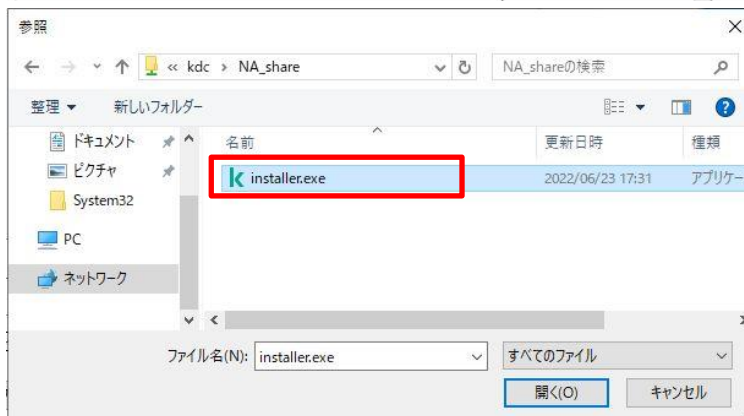


- (6) "(1)"で準備した共有フォルダーを開き、exeを指定し、「開く」をクリックします。

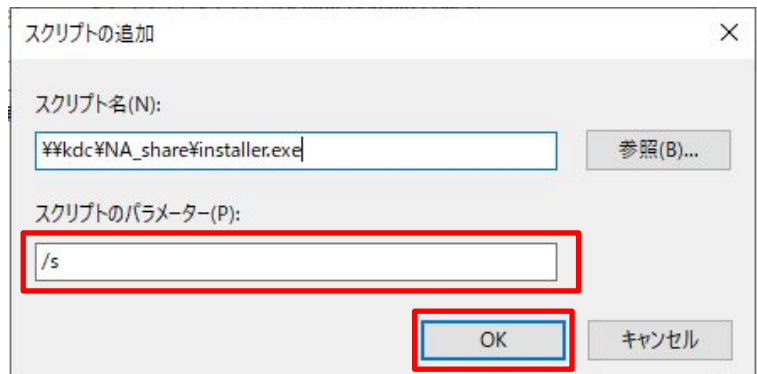
注)

指定する際、ローカルパスではなく、共有フォルダーのパスとします。

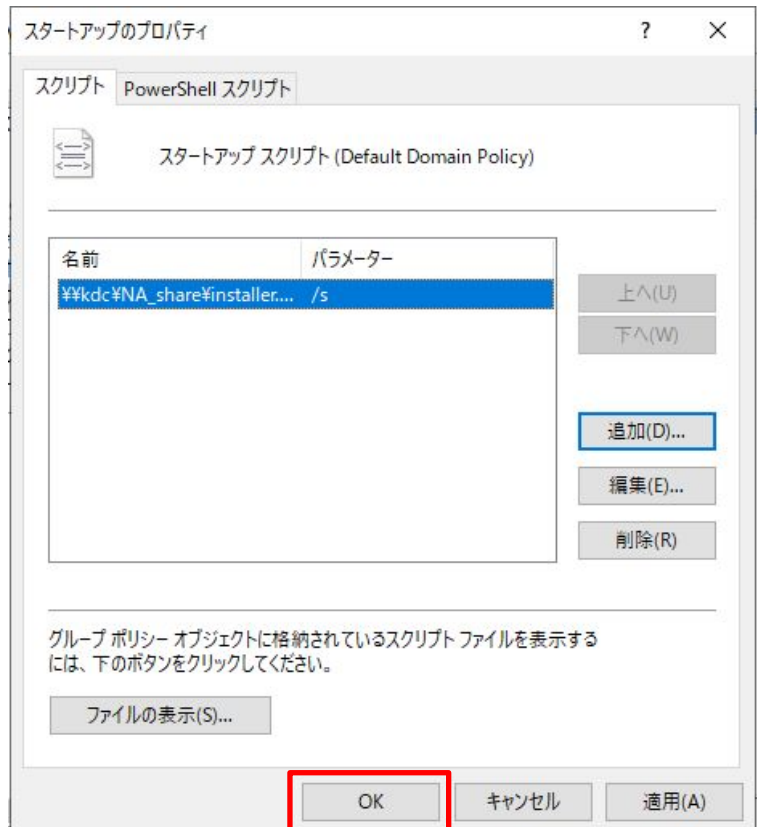
ここでは¥¥kdc¥NA\_share¥を開いて指定しています。



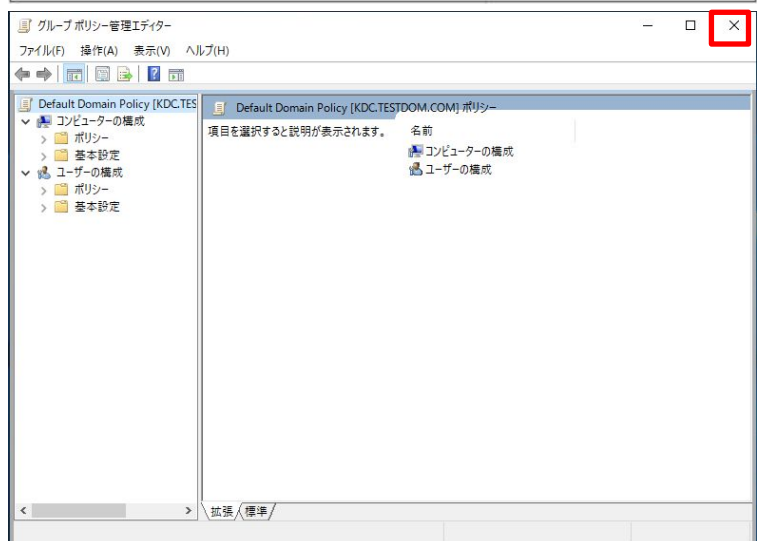
- (7) スクリプトのパラメーターにサイレントインストールオプションである `/s` を入力し、「OK」をクリックします。



- (8) 登録されたことを確認し、「OK」をクリックします。

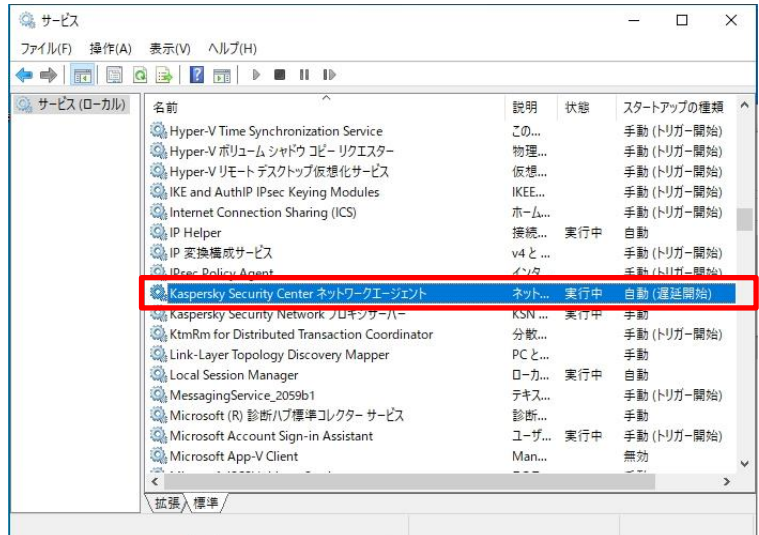


- (9) ポリシーエディターを閉じます。  
以上で設定は完了です。



- (10) クライアントデバイス起動時にスタートアップスクリプトが実行し、ネットワークエージェントのインストールが行われます。

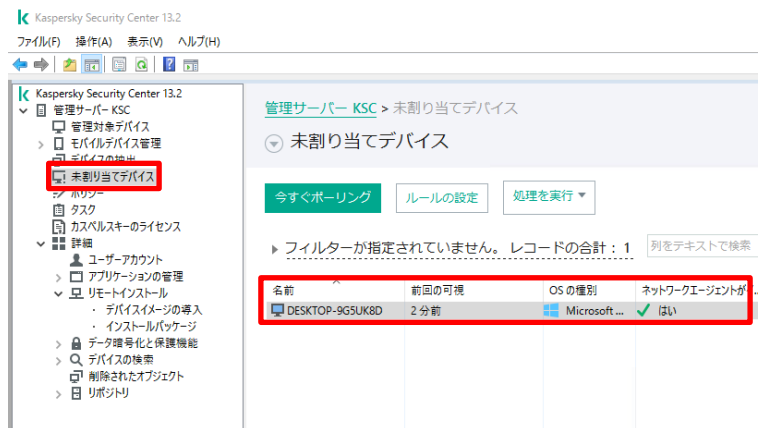
インストールが正常に完了すると、クライアント上にネットワークエージェントのサービスが登録されます。



- (11) ネットワークエージェントのインストールが行われたクライアントデバイスは、KSC 上の「未割当デバイス」に表示され、「ネットワークエージェントがインストール済み」のステータスが「はい」と表示されます。

デバイスを管理下とするためには、「**管理対象デバイス**」配下に存在する必要があります。

デバイスを選択し、適切な管理対象デバイスグループ配下へ移動してください。



本節は以上です。

## 3.4. 資産管理ソフトウェアを利用したリモートインストール

---

資産管理ソフトウェアを使用している場合、資産管理ソフトウェアのリモートインストール機能を利用してネットワークエージェントのインストールを行うことが可能です。

インストーラーは「2.1 ローカルインストールパターン」にて作成した「スタンドアロンインストールパッケージ」を使用するのが一般的です。

スタンドアロンインストールパッケージは、**/s** オプションを指定して実行することで確認のダイアログが表示されることもなく、サイレントインストールが可能です。（例 **installer.exe /s**）

資産管理ソフトウェアの仕様に合わせ、インストール方法を選択してください。

本章は以上です。



## 4. KES のインストール

本章では、管理対象のデバイスに KES をインストールする方法についてご説明します。

KES のインストールパッケージは約 360MB あります。ネットワーク経由でインストールを行う場合、ネットワークの輻輳が発生しないよう、クライアントデバイスの台数に応じて配信方法をご検討ください。

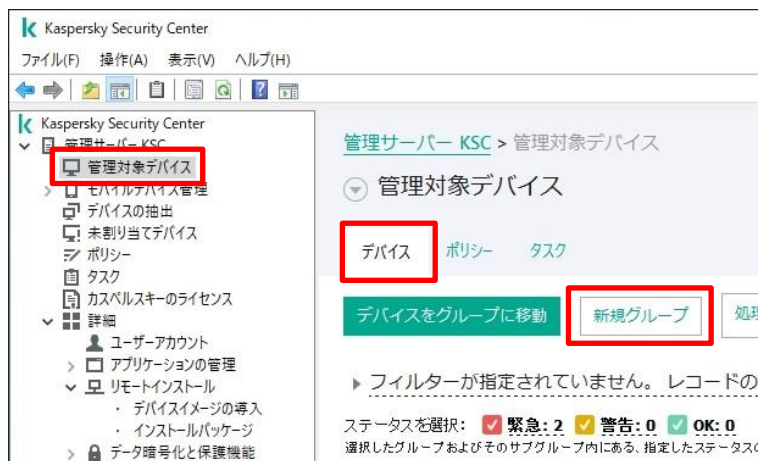
ここでは KSC にて配信用のグループを作成し、作成したグループに所属するデバイスに対し、リモートインストールのタスクを実行する方法を紹介します。

**本手順を実施する場合、各クライアントデバイスには、ネットワークエージェント(NA)が導入されていることが前提となります。**

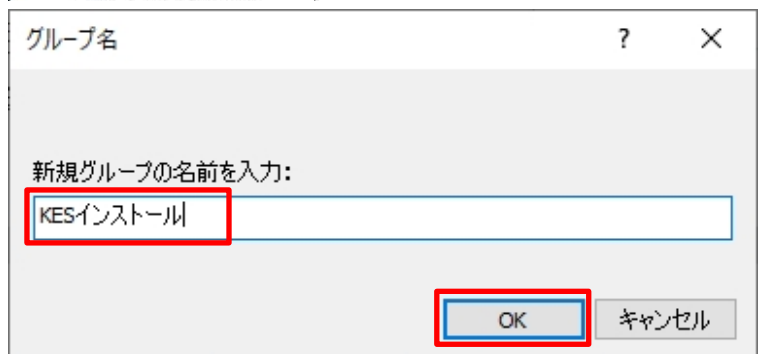
### 4.1. グループの作成、および端末の移動

はじめに配布用のグループを作成します。

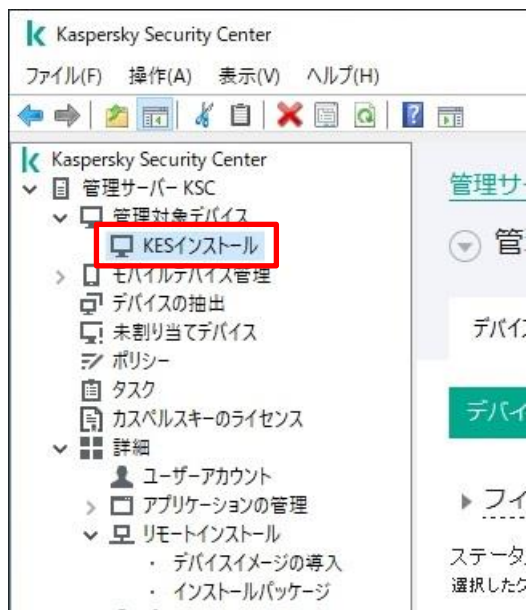
- (1) KSC の管理コンソールを起動し、左側の項目から「管理対象デバイス」を選択します。その後、右側画面内で「デバイス」タブを選択し、「新規グループ」をクリックします。



- (2) グループ名を入力する画面が表示されるので、適切な名前を入力し、「OK」をクリックします。  
本資料では「KES インストール」としています。

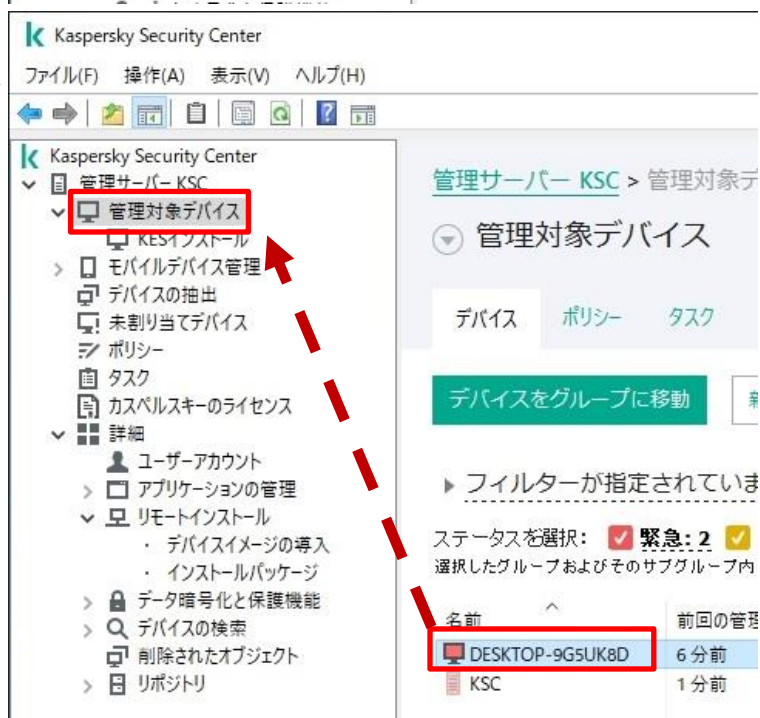


(3) 新しいグループが作成されたことを確認します。



(4) 作成したグループへデバイスを移動します。  
移動したいデバイスを選択し、ドラッグアンドドロップで新しいグループへ移動します。

ここでは「管理対象デバイス」配下にあるデバイスを「KES インストール」グループへ移動しています。



(5) 「KES インストール」グループにデバイスが移動したことを確認します。

まだ KES がインストールされていないため、システムの保護が行われておらず、アイコンが赤色で表示されています。



本節は以上です。

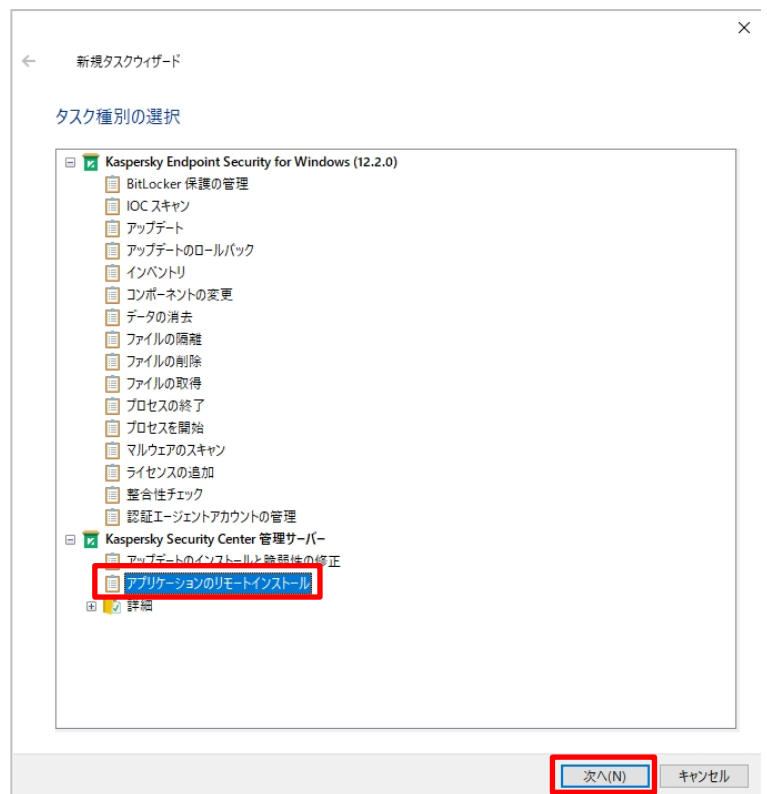
## 4.2. タスクの作成、および実行

続いて「KES インストール」グループに対して KES のインストールタスクを作成し、実行します。

- (1) 「KES インストール」グループを選択し、「タスク」タブを選択します。  
その後、「新規タスク」をクリックします。



- (2) 「Kaspersky Security Center 管理サーバー」配下の「アプリケーションのリモートインストール」を選択し、「次へ」をクリックします。



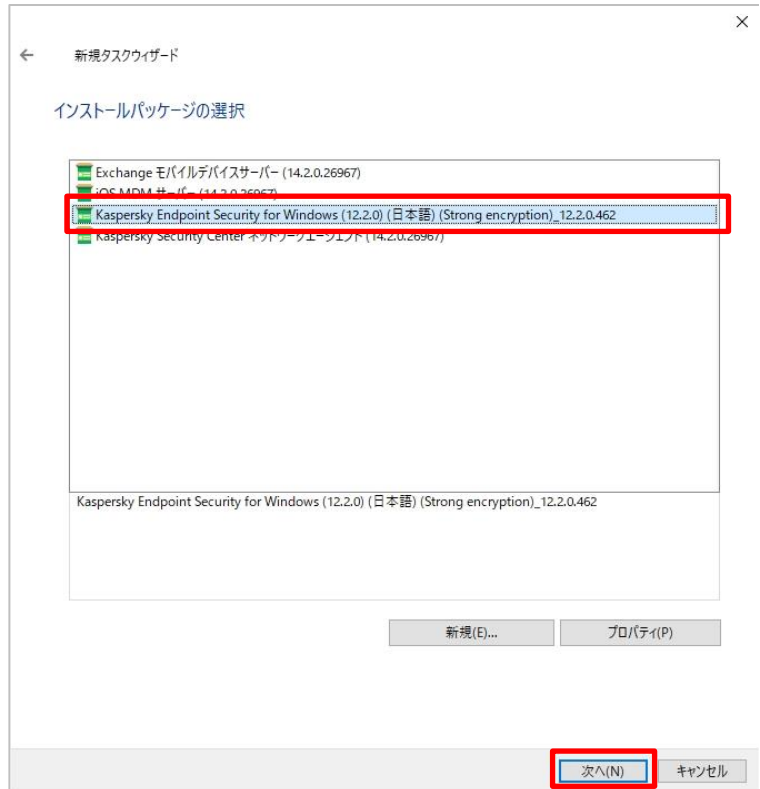
- (3) 「Kaspersky Security Center 13.2 パッケージを配信」にチェックがあることを確認し、「次へ」をクリックします。



- (4) 表示されているインストールパッケージ一覧から KES のインストールパッケージを選択します。

ここでは、「Kaspersky Endpoint Security for Windows」を選択しています。

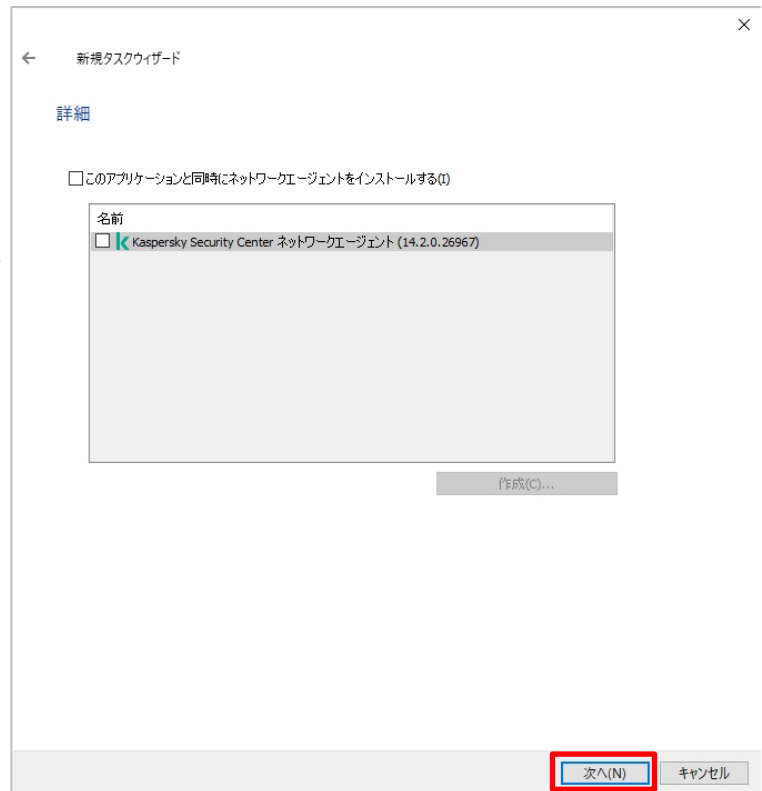
- ※ ここに存在しない場合は、「KSC 簡単インストールガイド」の「Appendix 1. KSC に対しインストールパッケージの登録」を参照してインストールパッケージを登録してください。



(5) KESと一緒にインストールするパッケージを選択します。

ここでは既定値のまま、「次へ」をクリックします。

※ この画面では KES と一緒にインストールするパッケージが選択できます。  
今回対象となっているデバイスには既に NA がインストールされているため、チェックを入れる必要がありません。



(6) リモートインストール方法を選択します。

ここでは既定値のまま、「次へ」をクリックします。



(7) インストール後の OS 再起動方法を選択します。

ここでは「デバイスを再起動する」を選択し、「次へ」をクリックします。

競合他社製品がインストールされている場合など、KES インストール後に OS の再起動が必要となる場合があります。

再起動について以下の設定が可能です。

- ・ **デバイスを再起動しない**  
インストール完了後も再起動は行いません。OS が保護されない状態となりますのでご注意ください。
- ・ **デバイスを再起動する**  
インストール完了後、60 秒のカウントダウン後 OS の再起動が強制的に行われます。
- ・ **ユーザーに処理を確認する**  
インストール完了後、OS の再起動を選択するダイアログが表示されます。既定では「延期」をすると 5 分後に再度通知され、30 分後に強制再起動が行われます。

(8) タスクの実行アカウントを指定します。  
ここでは既定値のまま、「次へ」をクリックします。

既にネットワークエージェントがインストールされているデバイスに対しリモートインストールを行います。

ネットワークエージェント経由の場合、SYSTEM 権限でインストールが行われるため、アカウントの指定は不要です。

新規タスクウィザード

オペレーティングシステムの再起動のオプションを選択

アプリケーションのインストール後にオペレーティングシステムの再起動が要求される場合に実行する処理を選択します。

☐ デバイスを再起動しない  
☒ **デバイスを再起動する**  
☐ ユーザーに処理を確認する

アプリケーションをインストールしました。完了するには、システムを再起動します。

☒ 通知の繰り返し間隔(分): 5  
☒ 再起動するまでの時間(分): 30

☐ セッションがブロックされたアプリケーションを強制終了する(R)

次へ(N) キャンセル

新規タスクウィザード

タスクを実行するアカウントの選択

☒ アカウントが不要 (ネットワークエージェントインストール済み)(N)  
☐ アカウントが必要 (ネットワークエージェントの使用なし)(A)

タスクの実行に使用されるアカウントのリスト。アカウントはリストの順に選択されます。組織レベルの機密データ(ドメインまたはグループ管理者の資格情報など)は、保存しないことを推奨します。

名前	種別	
リストが空です。		

追加(A) プロパティ(P) ↑ ↓ ×

次へ(N) キャンセル

- (9) タスクの実行スケジュールを設定します。  
ここでは既定値のまま、「次へ」をクリックします。

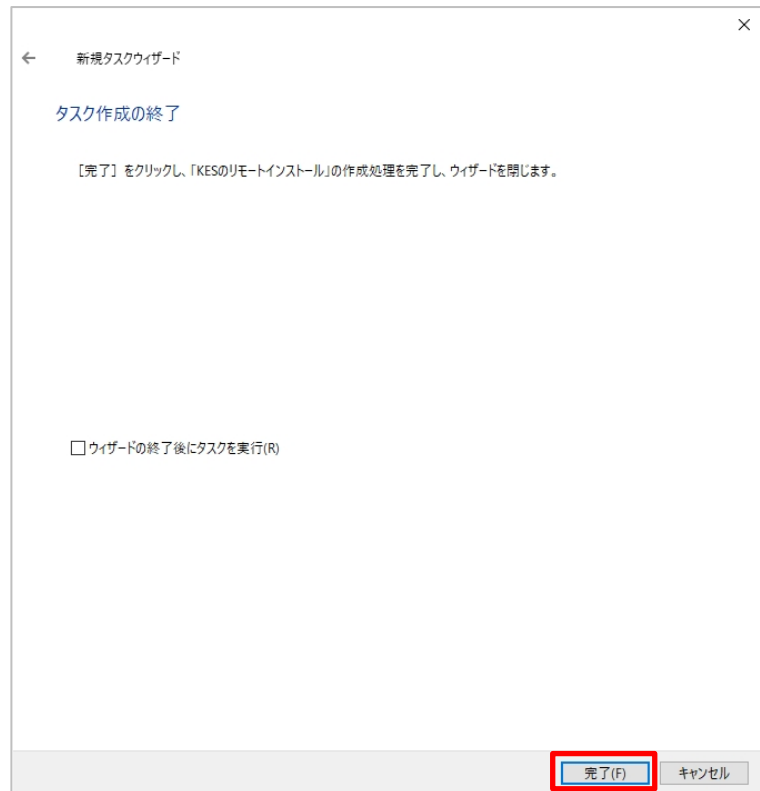
The screenshot shows the 'New Task Wizard' window with the title bar '新規タスクウィザード' and a close button '×'. The main heading is 'タスクスケジュールの設定'. Below it, there is a dropdown menu for '実行予定:' with '手動' selected. A large empty rectangular box is present. At the bottom, there are three checkboxes: '未実行のタスクを実行する(R)' (checked), 'タスクの開始を自動的にランダムに遅延させる(A)' (checked), and 'タスクの開始を次の時間範囲内でランダムに遅延させる(分)(D):' (unchecked). The third checkbox has a spinner box set to '1'. At the bottom right, there are two buttons: '次へ(N)' (highlighted with a red box) and 'キャンセル'.

- (10) タスク名を入力します。  
ここでは「KES のリモートインストール」とし、「次へ」をクリックします。

The screenshot shows the 'New Task Wizard' window with the title bar '新規タスクウィザード' and a close button '×'. The main heading is 'タスク名の定義'. Below it, there is a label '名前:' followed by a text input field containing 'KESのリモートインストール' (highlighted with a red box). At the bottom right, there are two buttons: '次へ(N)' (highlighted with a red box) and 'キャンセル'.



- (11) タスクが正常に作成されたことを確認し、「完了」をクリックします。

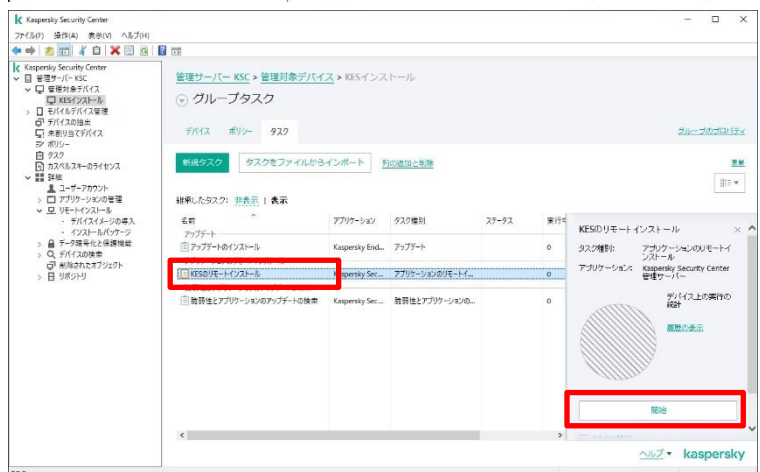


- (12) 「KES インストール」グループのタスク一覧に、作成したタスクが表示されていることを確認します。

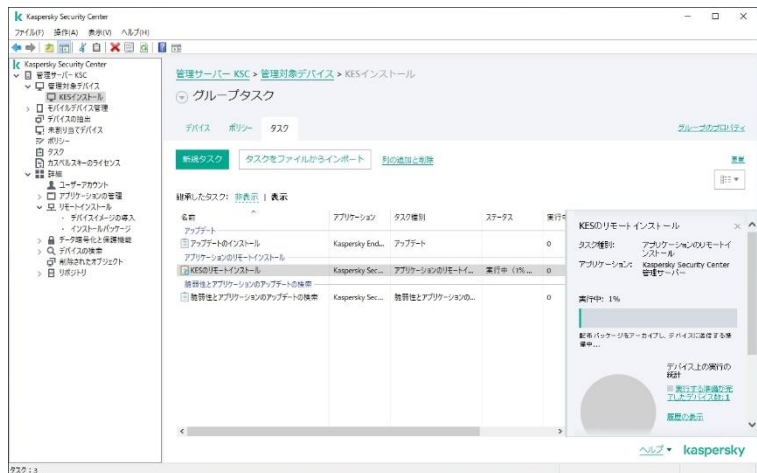


- (13) 作成したタスクを実行します。  
タスクを選択すると画面右端に「開始」ボタンが表示されるのでクリックします。

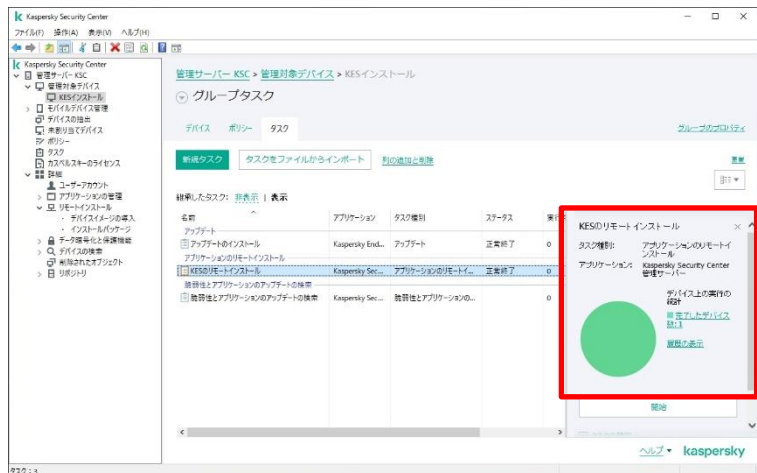
※ タスクを右クリックし、コンテキストメニュー内の「開始」を選択することも可能です。



(14) タスクが開始されます。完了するまでしばらくお待ちください。



(15) 正常にタスクが完了すると右図のように表示されます。



- (16) デバイス側に KES がインストールされた  
ことで「リアルタイム保護ステータス」が「実行  
中」に変わります。



以上で KES のインストールは終了です。  
インストール対象としたデバイスを適切なグループへ移動してください。

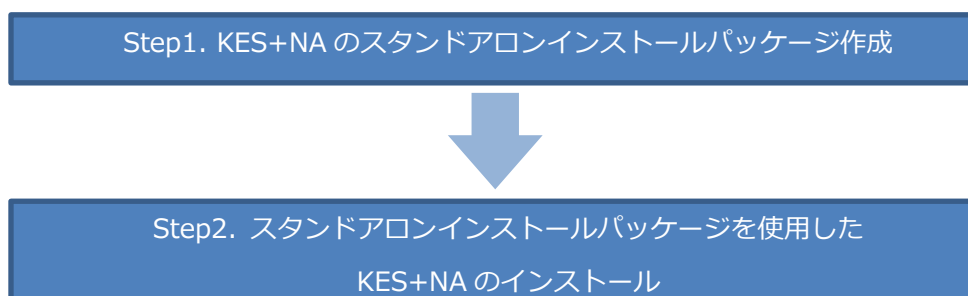
本章は以上です。

## 5. KES と NA を同時にインストール

---

本章では、KES と NA の両方が含まれているスタンドアロンパッケージを使用し、デバイスに対し KES と NA を同時にインストールする手順を説明します。

作業の流れは以下の通りです。

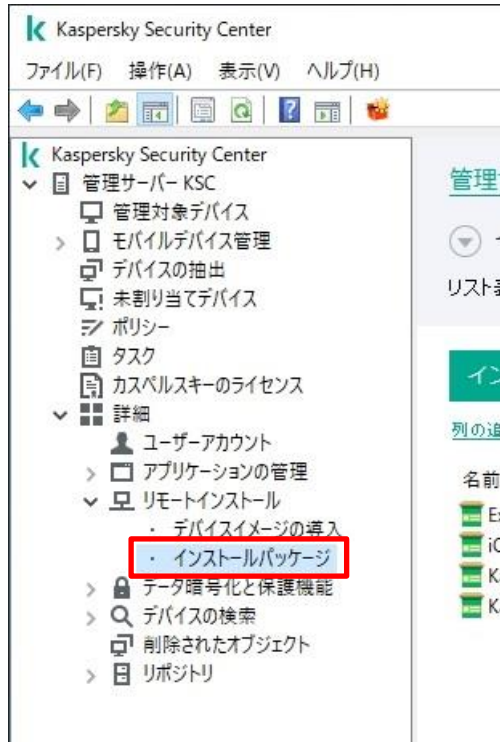


手順について以下より説明します。

## 5.1. KES と NA が含まれたスタンドアロンインストールパッケージの作成

KES と NA の両アプリケーションが含まれたスタンドアロンインストールパッケージの作成手順をご説明します。

- (1) KSC 管理コンソールを起動し、「詳細」-「リモートインストール」-「インストールパッケージ」を選択します。



- (2) 右側の画面に、現在登録されているインストールパッケージの一覧が表示されます。

ここでは、「Kaspersky Endpoint Security for Windows」を右クリックし、「スタンドアロンインストールパッケージの作成」を選択しています。

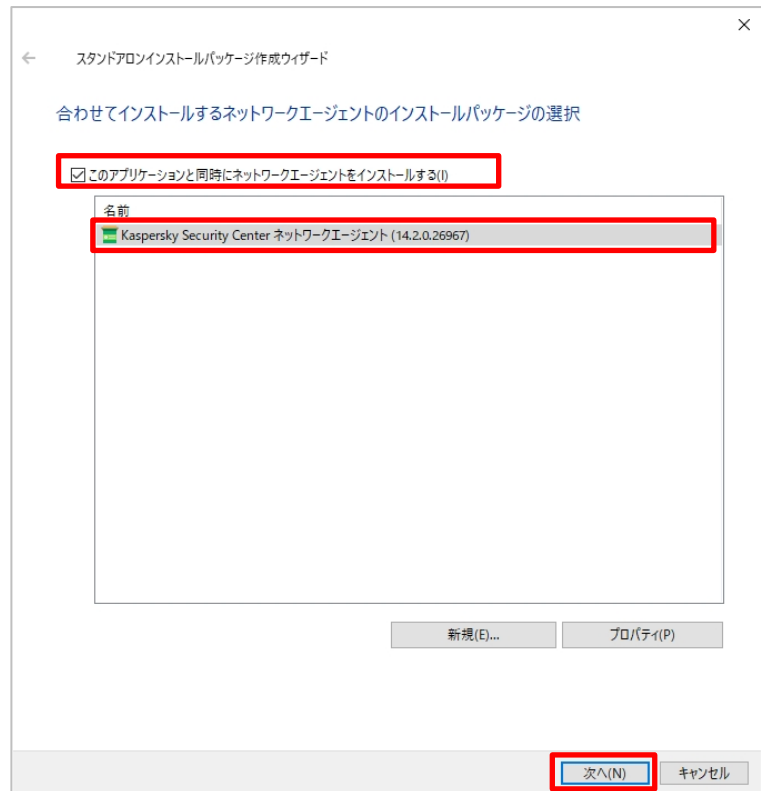


- ※ ここに存在しない場合は、「KSC 簡単インストールガイド」の「Appendix 1. KSC に対しインストールパッケージの登録」を参照してインストールパッケージを登録してください。

(3) スタンドアロンインストールパッケージ作成ウィザードが起動します。

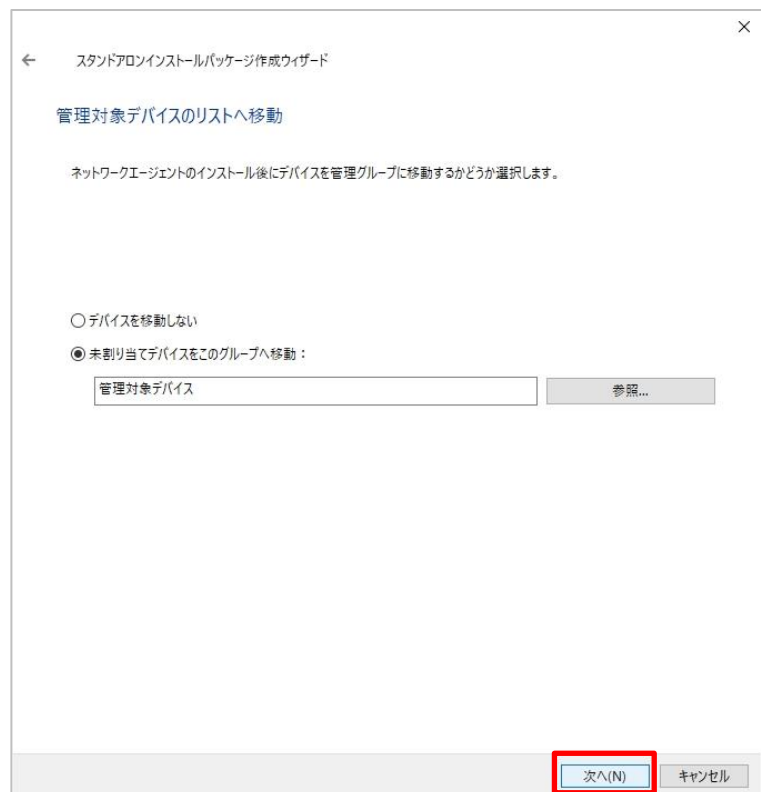
「このアプリケーションと同時にネットワークエージェントをインストールする」にチェックを入れます。

ネットワークエージェントのインストールパッケージが選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

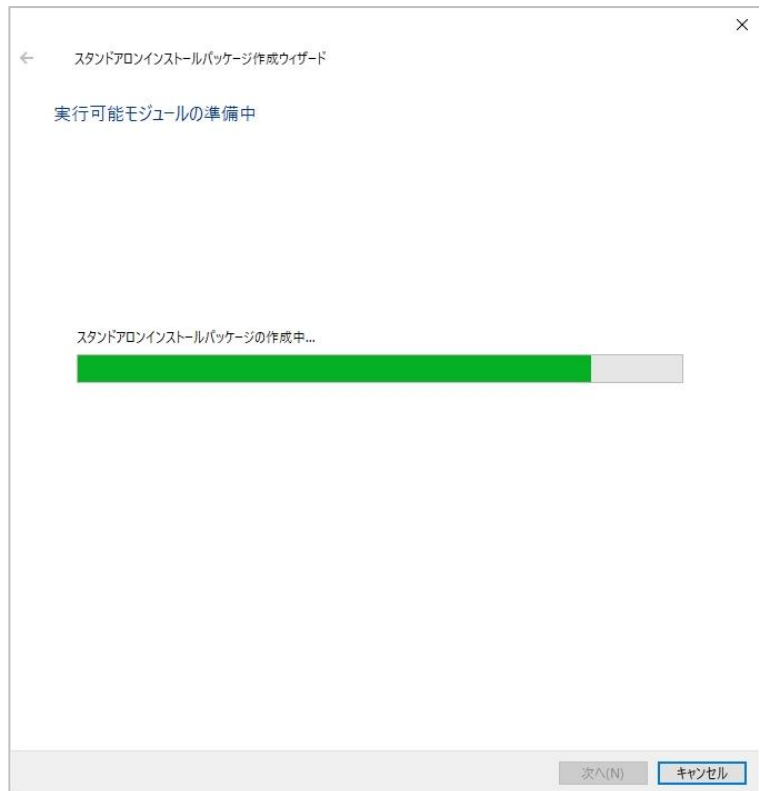


(4) このスタンドアロンインストールパッケージを使用して NA をインストールしたデバイスを、どのグループに移動するかを設定できます。

ここでは既定値のまま、「次へ」をクリックします。



- (5) スタンドアロンインストールパッケージを作成します。  
完了するまでしばらくお待ちください。



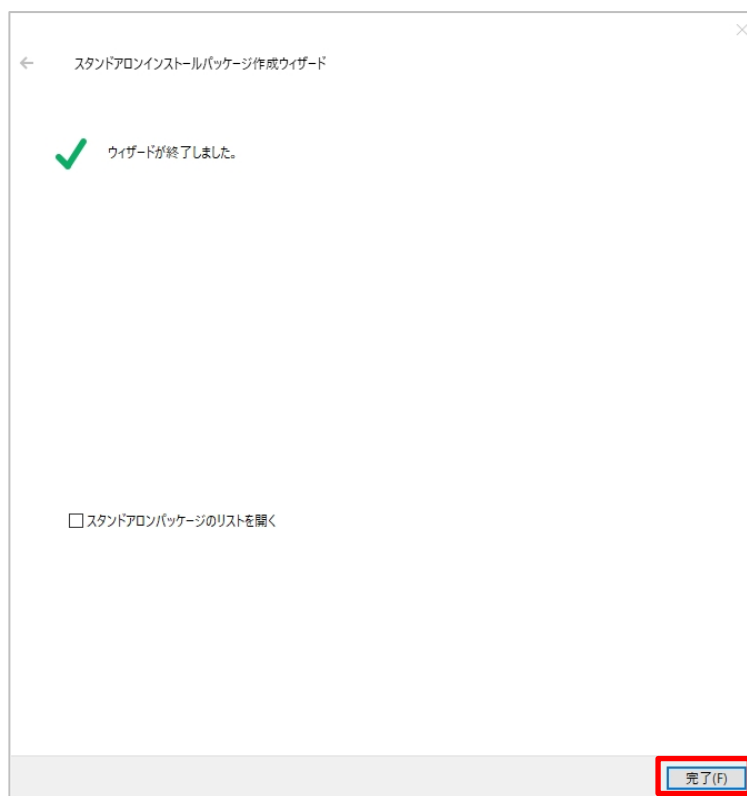
- (6) 正常にスタンドアロンインストールパッケージが作成されたことを確認します。  
作成されたインストールパッケージのパスとファイル名が表示されます。

このパスにアクセスすると、インストールパッケージを取得することができます。

確認後、「次へ」をクリックします。



(7) 「完了」をクリックし、ウィザードを終了します。



本節は以上です。



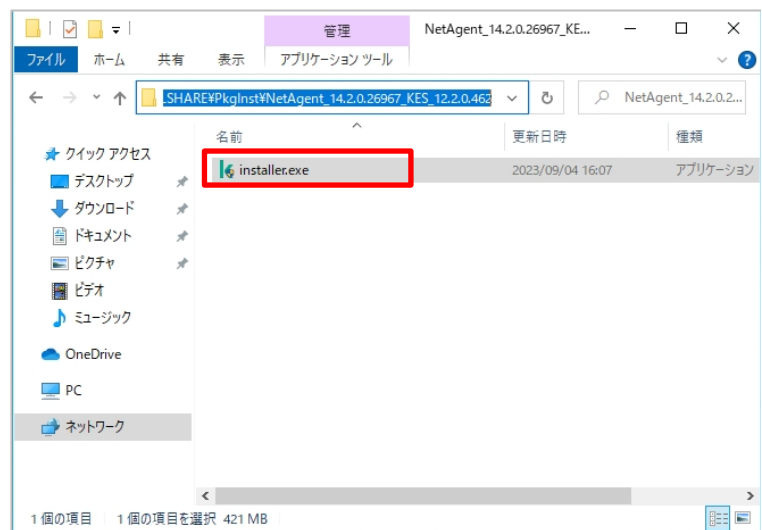
## 5.2. KES+NA スタンドアロンインストールパッケージの実行

KES+NA のスタンドアロンインストールパッケージを使用したインストール手順をご説明します。

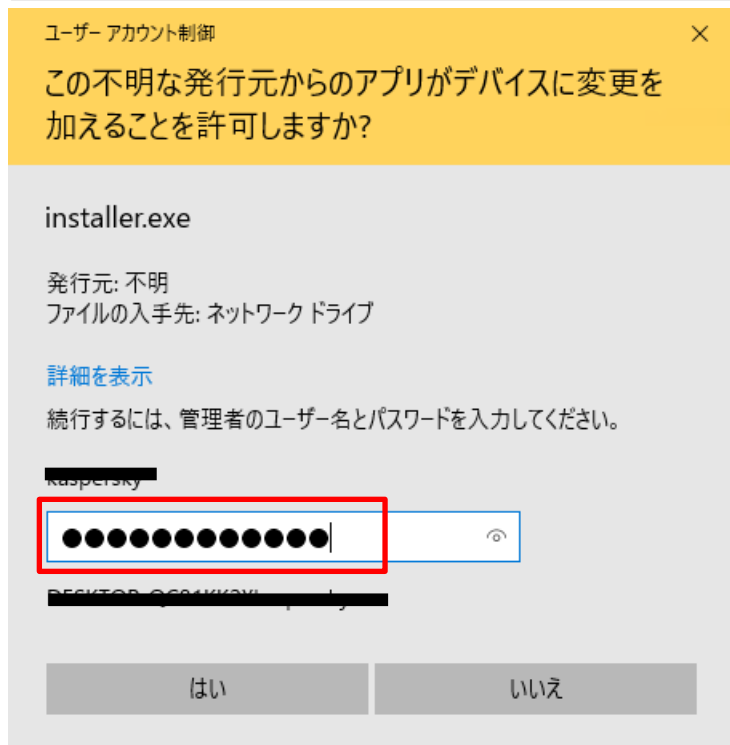
なお、スタンドアロンインストールパッケージの展開は「共有域を利用」する方法、「外部メディアを利用」する方法があります。詳細は「3.1.1 共有域を利用」「3.1.2 外部メディアを利用」をご参照ください。

ここでは、いずれかの手段でデバイス上にスタンドアロンインストールパッケージを格納した後からの手順をご説明します。

- (1) スタンドアロンインストールパッケージのインストーラーを実行します。



- (2) ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合、適切なアカウントを入力し、処理を進めます。  
ログオン中のアカウントの権限により、パスワード入力が表示されず、「はい」をクリックすることで処理を進めることもできます。



- (3) カスペルスキー製品のインストール画面が表示されるので、「インストールの開始」をクリックします。



- (4) KESとNAのインストールが開始されます。完了するまでしばらくお待ちください。



- (5) インストール完了画面が表示されるので、「閉じる」をクリックします。



本章は以上です。

本章では、補足事項についてご説明します。

### 1. NA を使用せずにリモートインストールを行う場合の事前準備

---

ここでは、ネットワークエージェント（NA）を使用せずに直接 KSC のタスクを使用してネットワークエージェントや KES をリモートインストールする際に、クライアントデバイス側で行う設定についてご説明します。

ネットワークエージェントを介したインストールではないため、事前にクライアントデバイス側でリモートインストールを受け付ける設定を行う必要があります。

**ファイアウォールの設定やユーザーアクセスコントロール（UAC）の停止などを行うため、デバイスのセキュリティが低下します。十分にご検討の上実施してください。**

**また、リモートインストール完了後に本設定は必ず元に戻してください。**

本資料では、クライアントデバイスとして Windows10(バージョン 21H1)を使用した場合の設定についてご説明します。

## 1.1. Windows ファイアウォールの設定

リモートからのインストールができるよう、ファイアウォールの設定を行います。

ドメイン環境の場合、通常「ドメインネットワーク」のファイアウォールが適用されます。グループポリシーで設定を行うか、各デバイス上の「ドメインネットワーク」ルールを設定してください。

ワークグループ環境の場合、「プライベートネットワーク」もしくは「ゲストまたはパブリックネットワーク」のファイアウォールが適用されます。

「**接続済み**」と表示されているファイアウォールを設定してください。どれかわからない場合は、すべてのファイアウォールプロファイルを設定してください。

なお、KES を規定の設定でインストールすると KES のファイアウォール機能が有効化されるため、Windows Defender ファイアウォールの設定は無効化され、以降 KES のファイアウォールが機能します。

KES のファイアウォール機能を使用しない場合は、リモートインストール後に本設定を元の状態へ戻してください。

またカスペルスキー製品が使用する通信ポートは空けて運用してください。

通信に必要なポートは以下ナレッジベースに記載されています。

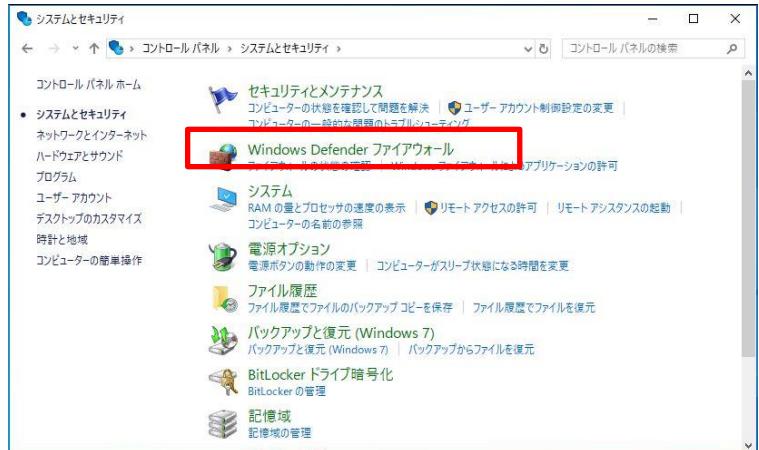
<https://support.kaspersky.com/KSC/13.2/ja-JP/158830.htm>

ここでは、ワークグループ環境にある Windows10(21H1)を使用してご説明します。

- (1) コントロールパネルを起動し、「システムとセキュリティ」を選択します。



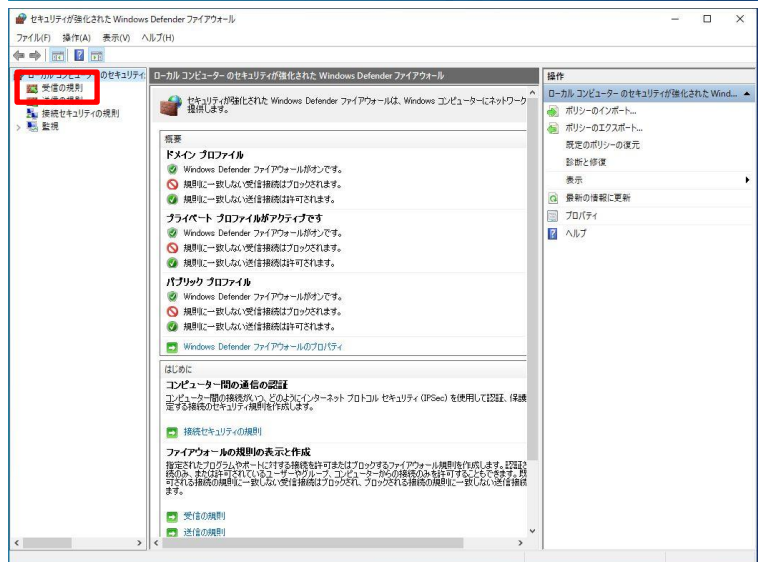
(2) 一覧から「Windows Defender ファイアウォール」を選択します。



(3) 「詳細設定」をクリックします。



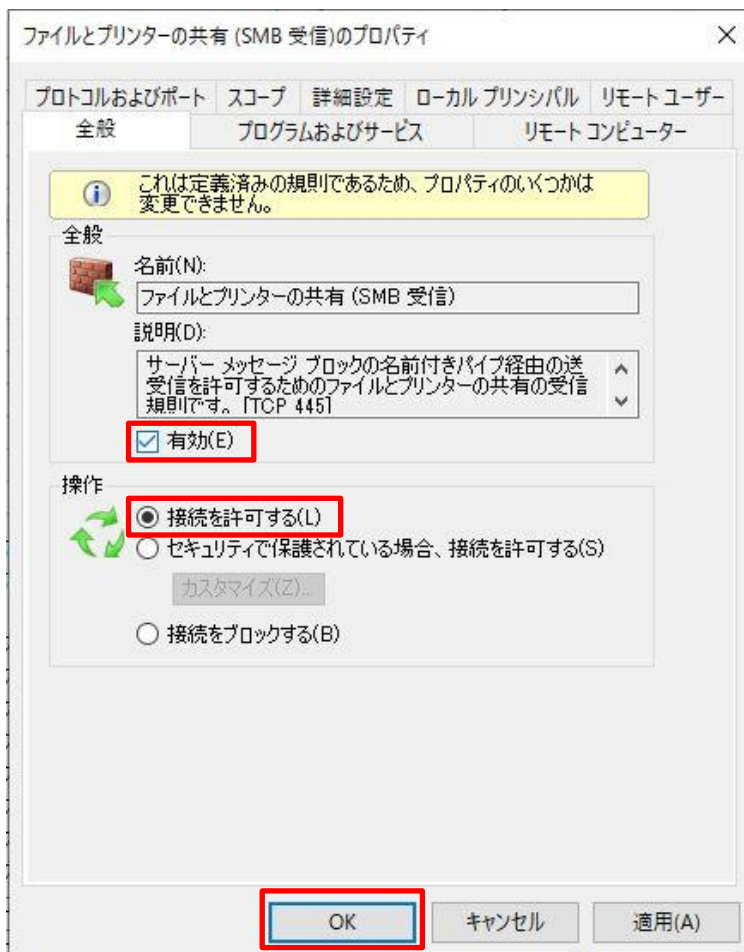
(4) 「受信の規則」をクリックします。



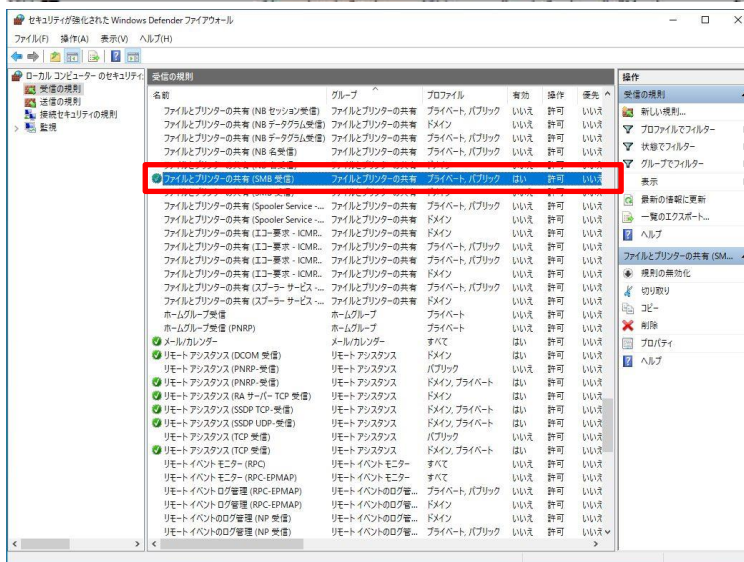
(5) 「ファイルとプリンターの共有（SMB 受信）（プライベート、パブリック）」をクリックします。



- (6) 「接続を許可する」が有効になっていることを確認し、「有効」にチェックを入れます。  
設定後「OK」をクリックします。



- (7) 設定が有効になっていることを確認します。



- (8) また、KSC から該当デバイス情報が見えない場合、ICMP 受信が無効になっていることが原因である可能性があります。  
「ファイルとプリンターの共有（エコー要求・ICMPv4 受信）」の設定を上記と同じように有効化してください。



本節は以上になります。



## 1.2. 簡易ファイル共有の無効化

- (1) コントロールパネルを起動し、「デスクトップのカスタマイズ」を選択します。

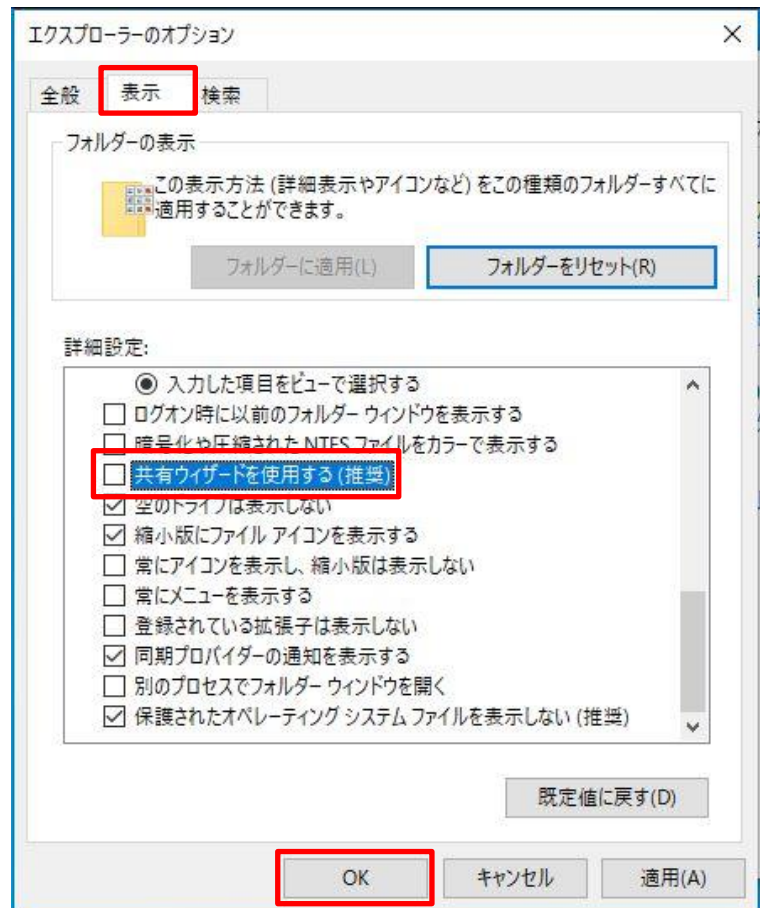


- (2) 一覧から「エクスプローラーのオプション」を選択します。





- (3) エクスプローラーのオプション画面にて「表示」のタブをクリックします。  
詳細設定内にある「共有ウィザードを使用する」のチェックを外し、「OK」をクリックします。



本節は以上になります。

## 1.3. ネットワーク検索の有効化

- (1) コントロールパネルを起動し、「ネットワークとインターネット」を選択します。



- (2) 一覧から「ネットワークと共有センター」を選択します。



- (3) 「共有の詳細設定の変更」を選択します。



- (4) (現在のプロファイル) と表示されている項目で「ネットワーク探索を有効にする」と「ファイルとプリンターの共有を有効にする」を選択し、「変更の保存」をクリックします。



本節は以上になります。

## 1.4. ユーザーアクセスコントロールの無効化

- (1) コントロールパネルを起動し、「ユーザーアカウント」を選択します。



- (2) 一覧から「ユーザーアカウント」を選択します



- (3) 「ユーザーアカウント制御設定の変更」を選択します。



- (4) 「コンピューターに対する変更の通知を受け取るタイミングの選択」にて「通知しない」までレベルを下げ、「OK」をクリックします。



- (5) 確認画面が表示される場合、「はい」をクリックします。



本章は以上です。

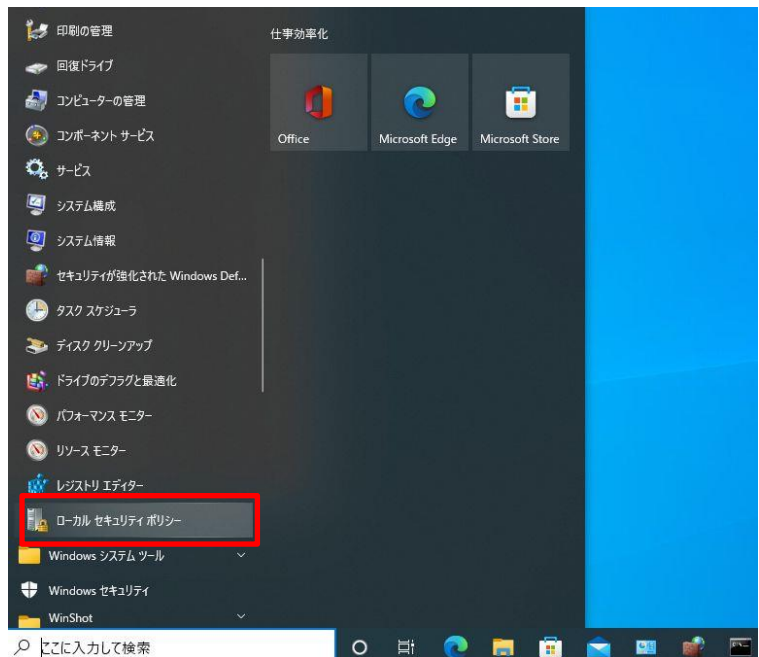
## 2. インストールに administrator 以外のアカウントを使用する場合

ここでは、リモートインストールにおいて Administrator 以外の管理者アカウントを使用する場合の設定についてご説明いたします。

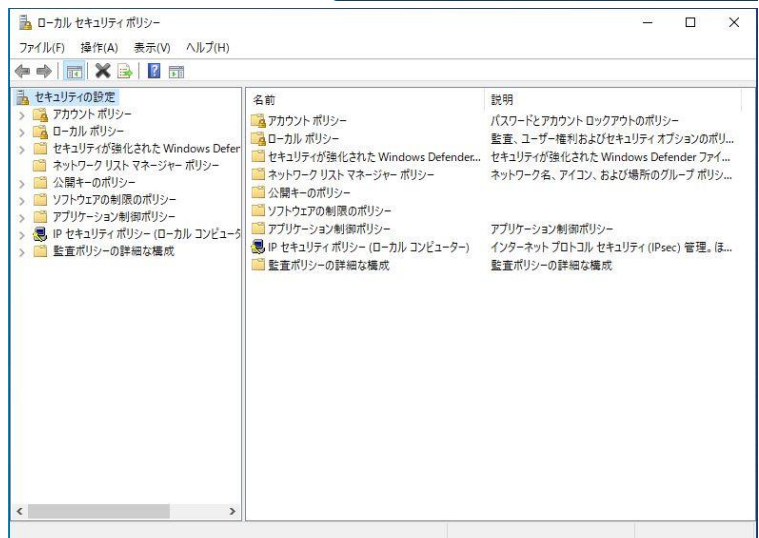
Active Directory 配下の場合はグループポリシー、ワークグループの場合はローカルセキュリティポリシーにて設定してください。

ここではワークグループ環境にある Windows10(21H1)を使用してご説明します。

- (1) スタートメニューから「管理ツール」-「ローカルセキュリティポリシー」を開きます。



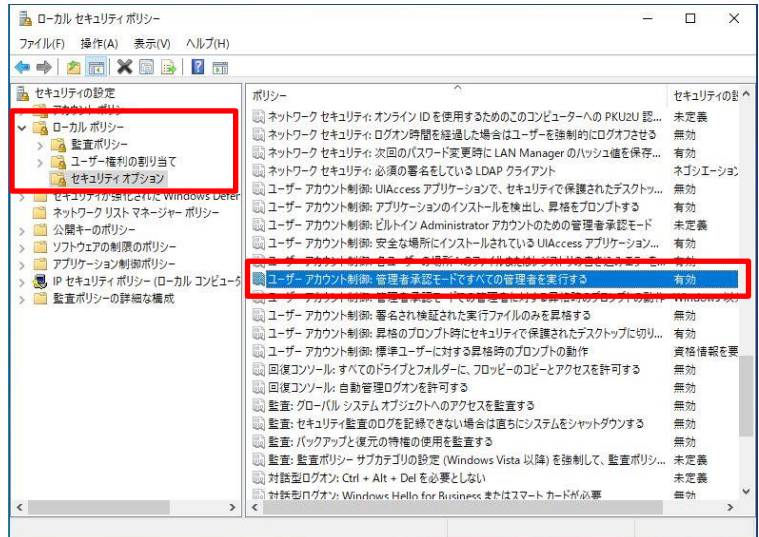
- (2) ローカルセキュリティポリシーの設定画面が表示されます。



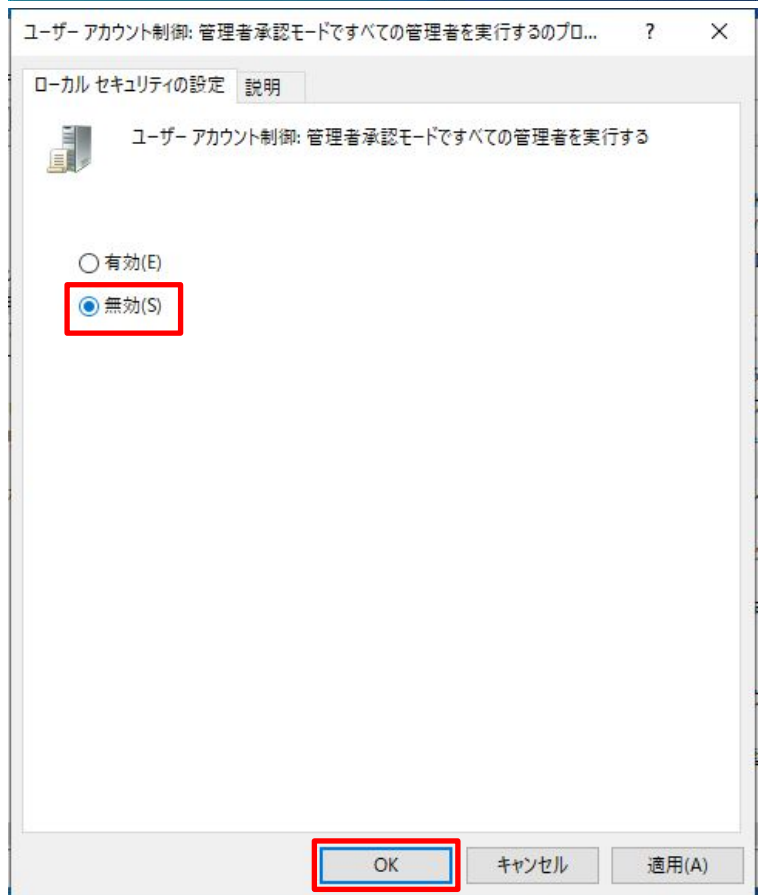
(3) 「ローカルポリシー」-「セキュリティオプション」を開きます。

右画面にて「ユーザーアカウント制御：管理者承認モードですべての管理者を実行する」をクリックします。

※ドメイン環境の場合、「コンピューターの構成」-「ポリシー」-「Windows の設定」-「セキュリティの設定」-「ローカルポリシー」-「セキュリティオプション」配下に該当設定があります。

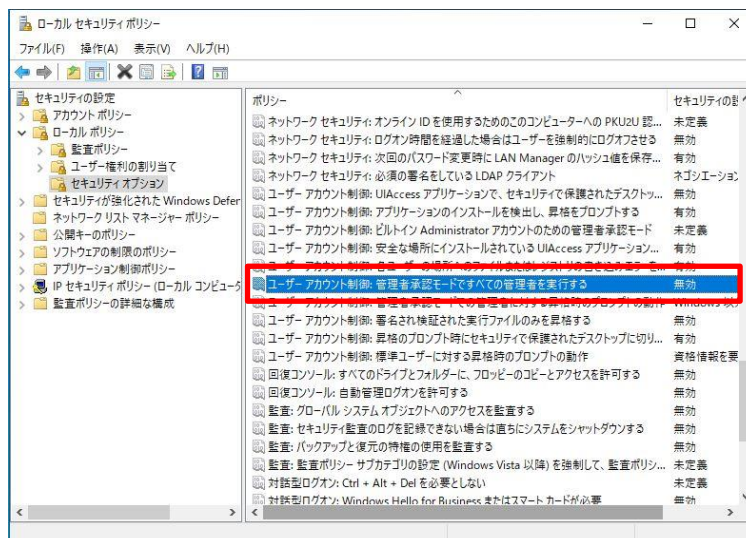


(4) 設定画面にて「無効」に変更し、「OK」をクリックします。



(5) 設定が無効になったことを確認します。

※OS を再起動することで設定が反映されます。



本章は以上です。







## 株式会社カスペルスキー

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-12-8 住友不動産秋葉原ビル 7F

<https://www.kaspersky.co.jp/> | <https://kasperskylabs.jp/biz/>

©2023 Kaspersky Labs Japan. Kaspersky Anti-Virus および Kaspersky Security は、AO Kaspersky Lab の登録商標です。  
その他記載された会社名または製品名などは、各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、TM、®マークは明記していません。  
記載内容は 2023 年 9 月現在のものです。記載された内容は、改良の為に予告なく変更されることがあります。